



はじめに

2007年10月1日に、日常のあれこれを書いていこうとブログを立ち上げました。最初は、のんびり日記を書いていたのですが、父の肺癌の手術から思いも寄らぬ闘病生活に入りました。

この本は、父が亡くなるまでと、そして亡くなってから書いた、約2年間のブログ記事をまとめたものです。

誰かに読んでいただくために書いたものではなくて、私が自分の気持ちを整理するために、そして、どうしようもない気持ちを吐き出すために書いてきたものです。

ですから、もしかすると、お見苦しい点多々あるかと思います。

でも、それが当時の私のほんとうの姿でしたので、改変することなく、そのまま掲載しています。

【父について】

昭和6年11月5日生まれ

中学校の理科の教師でした。
地元の中学校校長で定年退職してから
教育長として地域全体の教育に携わり
退職した後は、青少年育成などの仕事もしており、
生粋の教育者でした。

趣味はアマチュア無線で
若い頃は、中学校のクラブ活動などでも
アマチュア無線を指導していたようです。

また、戦争中ものがない頃に
電熱線でパン焼き鍋を作ってご近所に喜ばれたとか、
自作で電気ギターを作って弾いていたなど
理科の教師らしい話も残っています。

教育長の仕事を退職してからは

10年の間に、心臓・血管・胃癌・肺癌・脳腫瘍2回
6回の手術で、入退院を繰り返しました、

父のサイトです (もう更新することはありませんが)

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~hinahome/>

<http://www.geocities.jp/ja1chn/>

父が入院しました

2007-10-09 23:26:39

予定通り父が入院しました。
午後、自宅から1時間ほどの病院へ送り届けてきました。
と言っても、
行くときは父が自分で車を運転して行ったのですが

見た目は健康体で、痛いところもないのに
これからわざわざ病気になりに行くというのが
ちょっと困った気分でした。

父親は色々と病気を持っている人で
先日、計算してみたら4年に1回手術をしてるみたい。

最初が心臓で、人工心肺を使っての大手術
次が、足の血管のバイパス手術
さらに、胃癌手術。幸い超早期で無事に済みました。

そして、今度は肺癌の疑いですって。
まだ血液検査でも癌だという症状は出ていないので
あったとしても、ごく初期だろうとのことでした。

前回の手術で、もう次はないだろうと思っていたので
本人も家族も少しショックでした。
でも、癌の疑いではやらないわけにはいきません。

幸い父はしっかりした人で
家族より先に医師から病気の説明を受けましたから
よくあるように病名を隠す必要もなく
家族にとっては、精神的にはだいぶ楽です。

まだ担当医の説明がないので
実際にどんな手術になるのか
詳しくはわかりませんが、

これまでの話だと、
まずは、内視鏡で腫瘍の細胞をとってその場で検査。
良性のもので、内視鏡で取ればとり、
ダメなら切開してとるようになるらしいです。

悪性の場合なら、当然切開して
肺の3分の1とか2とか切りとる大手術になるとか。

いずれにしても、手術当日にどうなるかは
検査の結果次第ということでした。

少し疲れたみたい

2007-10-12 11:10:10

少し疲労感が抜けません。
父の病院へ行くのは半日かかりになるので
いつもの生活は2倍のスピードで
早回しにしないと間に合いません

常日頃、手抜きは慣れているので
なんとかこなっちゃいますけれどね

父は今のところ
手術に向けて体調を整えるだけなので
ヒマを持ってあましているみたいです。

土曜日に担当の先生から
手術の説明があるとのことで
指定された時間に来てくれと言われました。

そして、その日は
近くの親戚の娘さんの結婚式の日で
出発前と、戻ってきた時と
自宅へ立ち寄りお客さんへの
お茶の接待を頼まれていた日なんです。

なので、行ったり来たり
少し忙しい日になりそうです。

手術の説明を聞いてきました

2007-10-13 18:39:14

予定通り、
近くに住んでいる親戚の結婚式のお手伝いと
父の手術の説明を聞きに病院へ

手術前の説明も4回目ともなるとだいぶ慣れっこです。
最初の方は感染症の説明を聞いて
恐ろしくなったものでしたけれどね

あとはお医者さんの腕を信じて
全てをゆだねるしかありません。

この病院は毎回、小さな不安まで聞いてくれて
丁寧に納得するまで説明してくれるので信頼しています。

レントゲン写真も見せていただいたのですが
確かに右肺の上部に白いものが確認できました。
4年前の胃癌の手術の時にとった写真も
並べて見せてもらいましたけれど
その時にはその固まりはありませんでした。

今回、肺の手術は、横向きでするんだそうです。
最初は小さな穴(?)を開けて
内視鏡で確認しながらその塊の部分を切り取るそうです。

そして、すぐに組織検査をして確認
30分くらいで結果が出るので
良性ならば、それで手術は終了。

悪性だった場合は、
肺の上部3分の1くらいを切除するそうです。

やはり、切るとか、切除とか言われると
何かこう、気持ちが揺らぐものはありますけれど

初期に見つけられたことを幸いと思うしかないですね。

父は、前回の胃癌、今回の肺癌ともに
地域の集団検診で見つかりました。
それも毎年続けてしていたので、
初期で発見できたので幸いだったと思います。

実は父が毎年検診を受けるようになったのは
父の2人の弟の体験があったからなんです。
残念ながら2人の叔父は亡くなってしまいました。

いつか壮絶な叔父達の行き方について
書くことがあるかもしれませんがけれど
亡くなった2人の叔父が、
父を生かしてくれているんだなと思っています。

無事おわりました

2007-10-15 21:21:49

父の手術の日

おかげさまで無事終わりました。

やはり肺癌だったようで

右肺の上3分の1を取りました。

実際見せていただきましたが

見た目透明なプラスチックのようなもので

平たい楕円形のような感じで、大きさは1cmくらい。

あとで詳しい組織検査をするそうですが

リンパに転移していなければ第一期のはずだということです。

執刀された先生も満足のいく手術だったようで

「きれいに取れたと思います」とおっしゃっていました。

癌の種類には2種類あるそうで

名前を聞いたけれど忘れちゃいましたが

タバコを吸う人に良くできる癌だそうです。

父は禁煙してから10年近くなりますので

肺自体はきれいだということでしたが

それ以前は、かなりのヘビースモーカーでしたから

その影響ということもあるようです。

体調が悪いなどのきっかけがないと

なかなか難しいようですけれど.....

タバコを吸われている方は

ぜひぜひ、禁煙を検討してみてください。

回復が早いです

2007-10-18 00:42:27

その後の父の経過ですが

翌日16日にはICUを出て一般病棟へ
食事も普通にとれているようです。

17日にお見舞いに行った時には
もう、歩いていたのでビックリ。

胃の手術の時には、かなり痛みもあって
食べられなかったため回復には時間がかかったけれど
肺の場合は、痛み止めが効いているようで
食事でも食べられるため、回復が早とのこと。

手術前、手術後とトレーナーさんが来て
リハビリを繰り返してくれているようです。
肺を切り取った後は空洞になってしまっているので
きちんとリハビリをしてケアしておかないと
肺が縮んでしまうと聞きました。

もうも安心できる状態なので
昨日行ったときに、父にことわって
今日一日は病院へ行かずに
お休みさせてもらうことにしました。

このところずっと疲労感が続いていて
車を運転すると眠気が来てダメだったんです。
4年前の時は、こんなに疲れなかったような気がするので
だいぶ体力が落ちてきてしまっているみたいです。

父の方が落ち着いたら
自分の体力増強も考えないとなあと
思っていました。

そんなわけで、今日一日は

たまっていた家事を片付けて、食料の買い出しに行って
あとは本を読んだり、ネットをしたり、のんびり過ごしました。

久しぶりにのんびり

2007-10-22 19:31:13

父が手術してちょうど1週間。
その後の回復が良好で、
毎日リハビリに励んでいるようです。

まだ抜糸をしていないのでお風呂はダメらしいですが
シャワーくらいならいいとの許可をもらったらしいです。

傷跡はちょうどガムテープのようなものが貼り付けてあるので
水が染みこむ心配はないとのこと。

今は、ガーゼを当てて交換なんてことしないみたいですね。

今日は病院へ行く日でしたが
叔母達がお見舞いに行くからと
母も一緒に連れて行ってくれることになって
私は家でお留守番になりました。

一人きりだったので、
のんびり1日を過ごしました。

父が退院しました。

2007-10-26 14:26:46

昨日25日に父が退院しました。

24日に抜糸して翌日退院。

こんなに早く退院できるとは
思ってもみなかったのでビックリ
嬉しい驚きだからいいですけどね♪

昨日、午前中に迎えに行って来ました。

やはりまだ、歩くと貧血したみたいな

フラフラした感じがするようですが

徐々に回復すると思います。

なんだか、ホッとしたせいか

私は少し気が抜けてやる気が減退気味。

何も手につかない感じなのですが、

その代わりに、

これまで心配のためか

目眩があったりで体調が良くなかった母が、

俄然元気になりました(笑

母子というのは、

うまくできているものだなあと

可笑しく感じましたけれど

まずは、ひと安心です。

一難去って.....

2007-10-29 00:21:26

ブログにたくさんのコメントいただいて
ありがとうございます。
もうしわけありませんが
お返事が少し遅くなりそうです。

父がまた入院してしまいました。
持病で糖尿病も持っているのですが
低血糖で意識不明になってしまって

幸い回復しましたけれど
手術後ということもあり、
大事をとって再入院になりました。

詳しいことはまた、落ち着いてから書こうと思います。
取り急ぎ、コメントのお礼まで。

落ち着いてきました

2007-11-09 23:14:01

ご無沙汰しました。
久しぶりの更新です。

父は11月4日に退院して、
まだ疲れやすいものの
落ち着いた生活が戻りました。

低血糖になったのは
軽い肺炎を起こしかけていたのが原因だったそうです。
そのために糖分が通常より消費されて
低血糖になったというような説明でした。

原因がわかったので肺炎の方は
ごく軽いうちに治りました。
でも、その後血糖値の調整に時間がかかって
1週間ほどの入院になりました。

低血糖になった状態って……
これまでに何度か経験しましたがけれど
何度やっても慣れません。
毎回慌ててしまって大騒ぎになってしまいます。

なにはともあれ
父も少しずつ回復していますし
今夜は手術後はじめてお風呂に入って
サッパリしたみたいです。

お好み焼き食べてきました

2007-11-23 08:31:03

すっかりサボリグセがついてしまいました。
久しぶりの更新です。

なんだかこのところ無性に眠くて、
気がつくとき寝ているという状態です。

昨日、久しぶりに妹と食事に行ってきました。
「道頓堀」というお好み焼き屋さん。
たぶんチェーン店だと思います。

お店に入ると
「いらっしゃいませー ぽんぽこぽーん」

一瞬、ちょっと引いてしまいましたが、
その後何度も聞いたので慣れました(笑
お店の前に大きな狸の置物があるので
イメージキャラクターがタヌキなのでしょう。

平日のお昼ということで
お客さんは少なめでのんびり楽しめました。

キムチ入りのと、チーズとお餅炒りのお好み焼き
それと、栗入りの季節のサラダ、ドリンクバーを注文

後でお腹があいていたら
もんじゃ焼きも食べたいねと言っていたのですが
二人で分けながら2つ食べたら十分で
他のメニューは次回来た時にということになりました。

妹は我が家から5分くらい
すぐ近くに嫁いでいるのですが
今は2人の息子の子育て真っ盛りで
なかなかゆっくり外食ということもできないので

久しぶりに満喫していたようでした。

快気祝い

2007-12-06 00:40:48

父のその後ですが、かなり回復してきて、
やや疲れやすいものの通常の生活に戻りました。

肺炎になりやすいので、
風邪をひくのが要注意とのことです。

今日は、お見舞いをいただいた方へ
お返しのため、母が赤飯を蒸しました。

私の住む地方では、
お見舞いや、冠婚葬祭でいただいたものは
「半返し」つまり価値の半分程度を
お返しするのが習慣です。

お金をいただいた方には
商品券で半返ししたのですが
それをのせる「台」として
赤飯を使うことにしました。

ブログのコメントで
私を元気づけてくださった方々に
お礼の気持ちの赤飯です。
(写真だけですが)



おかげさまで、
無事に乗り越えることができました。

冬の風景

2007-12-28 00:50:36

毎日、寒いですね。
ちょっと風邪気味です。

いかに田舎に住んでいるかが
よくわかる1枚です

我が家の前を流れている川です。

お隣へ回覧板を持って行ったのですが、
お隣が遠いんです。

吹きさらしの土手は
お日様があっても、寒くて寒くて.....



ベランダから花見

2008-04-06 08:24:44

ベランダから見える桜の木が満開になりました。
朽ちかけた物置や電線などがあるので
風景としてはいま一つなのですが

毎年、お布団を干しながら花見です。



どこへ行こうかな？

2008-04-22 23:49:41

夕食を食べながら
昔行った旅行の話をしていたら、

なんとなく話の流れで、
今年はどこかへ行こうか
と、いうことになったみたいです。

時期はおそらく
秋以降になってしまいそうだけれど
家族での旅行なんて
もう10年ぶりくらいだと思います。

旅行って、実際の旅そのものも楽しいけれど、
計画を立てている段階がすでに楽しいです。

まだどこへ行くのかも
まったく決まってませんが
温泉でのんびりしたいという声が多いみたい。

ぜひぜひ実行できるといいなと思っています。

のんびりGW

2008-05-06 10:09:25

専業主婦の私にゴールデンウィークはあまり関係ないのですが、

夫が休みだと、
のんびりと同時に色々忙しいです。
夫はもう4月26(土)からずっと連休でした。

今日がGW最終日。
やっと...通常生活に戻れます。

1回家族で食事に行って、
買い物にも1度でかけましたが、
それ以外はどこへも出かけずの休暇でした。

この期間は混みますからねー
主にお出かけは平日にして、
あとは自宅でゴロゴロしてました。

それと、少し父のことでまた心配事が.....
後ほど詳しい事情は書くかもしれませんが

なんだか、目が悪くなっているらしく
視界が狭くなっているみたいだったり、
時々、細かい物事が思い出せなくなったり

老人性のものだと思うのですが
気にかかることが増えてきました。

本人は自分が変なことを自覚はしているので、
連休明けに病院へ行くらしいのですが

結果がどうなのか心配です。

心配事

2008-05-10 15:10:39

先日、父が病院へ行きましたが、
検査した結果が出るのは1ヶ月も先とのこと。

んー とても心配しています。

もともとしっかりした人で、
自分の状態をよく把握しているので、
「おかしい」ということは十分感じているようです。

なんか、記憶の一部が
抜け落ちているようなのです。

ワープロで文章を書いていると、
途中で他のことをしていると、
書いていたこと自体や内容が思い出せないとか。

視力の異常にも
関わっているのかもしれませんが、
キーボードに並んでいる文字の中で
特定の1文字だけがどうしても見つからなくなる
とも言っていました。
何度か見直せば出てくるらしいです。

ふと、「認知症」の初期なのではないかと
とても不安に思っています。

検索してみたところによると、
脳が萎縮して起こる認知症とは別に

脳出血や血栓が原因で起こるものもあるとか、
どちらかというと、こちらの症状に
近いものが多いかもしれないと……

まあ、素人判断ではなんとも言えないので
近く、父にまた病院行きを
勧めようかと思っはているのですが

なんというか.....

2008-05-22 00:34:45

父を病院に連れて行ってきました。
まず、眼科で状況を説明すると、
脳外科へ行った方がいいだろうとのことで、
(私も眼科の病気じゃないなと思っていましたが...)

脳外科でMRI検査。
やっぱり、目や記憶の異常は
脳から来ていたもののようです。

なんと、右の後頭部の脳に
腫瘍があるということで
予想外のことにちょっとショックを受けました。

今すぐに命に関わるものでは
ないらしいのですが.....

さらに詳しく検査してから、
治療をどうするのか決めるようです。

半年前に、肺ガンの手術をしたばかりですから
また手術、それも脳となるねえ.....

それに父はこれまで、
心臓、足の血管、胃癌、肺癌と手術しています。

癌はどれもごく初期の発見なので
転移の可能性はまずないと言われていたのですが
腫瘍がそれと関係するものかどうか
今後の検査でわかってくると思います。

結局

2008-06-16 09:36:33

その後、父の病状ですが
状態は悪くなるばかりで
結局は手術を決断しました。

左後頭部の腫瘍を切除する手術
明日、17日が手術日です。

腫瘍が良性か悪性かは
手術して細胞検査をしてみないと
わからないそうです。

可能性は3つあって、

- 1 髄膜種 脳を包んでいる膜にできた腫瘍(良性)
- 2 以前した癌による転移(悪性)
- 3 新たにできた癌(悪性)

実はこれまでしてきた4回の手術よりも
かなり気が重いです。

これまでは、心臓でも、胃癌でも、肺癌でも
手術してしまえば、あとは回復を待つだけで
もとの身体に戻れるという希望がありました。

今回は、場所が場所だけに
まったく先が見えません。

まず、腫瘍ができている場所の機能
視力の半分を司っている部分らしいのですが、
それは回復の見込みはないということです。

また、記憶の混乱や
簡単な動作ができないなどの障害は

頭頂部分が関わっている機能だそうですが、

現在現れている症状は
腫瘍の影響で脳がむくんでいる
または、腫れていることからの
影響ではないかということで、

この部分は、手術で腫瘍が取り除かれれば
腫れがひいて、改善されるかもしれないとのこと。

やはり「かもしれない」という表現なんですね。

でも、手術しないでこのままでいては
状態がどんどん悪化して行くばかりですから
選択としては間違っていないと思います。

幸い、腫瘍の場所としては
手術しやすい場所にあるそうですし、
これまで手術をしてくださった先生方も
体力的にはなんとか耐えられる状態と
言ってくださっています。

これまで、父が4回の大手術を
乗り越えて来られたのは
担当してくださったお医者様との
信頼関係が大きいのです。

ずっと同じ病院でしていますから、
これまでの父の身体の記録が
すべて細かく残っていますし、
担当医の方達が連絡をとりあって
万全の体制を整えてくださっています。
そういう病院があるというのは
とても心強いものだと思います。

とりあえず、乗り越えました

2008-07-14 00:48:16

すっかりご無沙汰しました。

父の手術は無事に成功しました。

ただ、髄膜種ではなく
癌の転移のようだという診断でした。

転移となると、
これまでに胃癌、肺癌を患っていたので、
どこからの転移なのかも問題になってきます。

一度組織検査をして結果が出ているのですが
現在は、もう一度詳しく検査中のようです。

そして、さらに全身のMRI検査をして
他の部分への転移がないかを調べました。

そしたら、大腸に気になる部分があるとのことで
土曜日に大腸の内視鏡検査もしました。

これまで「疑いがある」と言って検査すると
必ず、癌でしたので

実は、続けてまた手術になると、
覚悟はしていました。

でも、どうやら
腸には異常が見られないとの診断で、
ほっと緊張が解けたところです。

父の状態ですが、
デリケートな脳のことですから

一時的には手術前よりも悪化したりなど
心配することも色々ありましたけれど、

リハビリの成果もあって
かなりの部分が改善されてきたようです。

一時は言葉がうまく出てこなかったり、
簡単な計算ができなかったり
テレビのスイッチを押すなど
当たり前の行動も身体が動かないという状態でした。

正常な人でも「あれ何だっけ？」と、
わかっているのに言葉が出てこないことがあります、
24時間いつでもその状態にいる感じでしょうか。

当人にしかわからない辛さなので、
私には想像しかできませんが、

自分でわかっているのに、
言葉が出てこない、行動ができないというのが
いちばん苦しいようでした。

看護師さんのお話によると、
例えば「テレビのスイッチを指で押す」という
簡単な行動をするだけでも、

脳はたくさんのの命令を
身体に発信しているのだそうです。

それが100の命令だとすると、
1番にこれをして、2番にこれをして……というように
1から100まで順番に命令が出されます。

ところが、腫瘍の影響で脳に障害がおこり
その順番がわからなくなってしまう。
最後の100番のスイッチを押すことはわかっているのに、
1番目の命令がされないから行動に移せない

そんな状況で起こる障害だということです。

色々ありましたが、
最悪のことにはならなくて幸いでした。

これからもずっと、癌の転移の心配は
しつづけて行かなくてはなりませんが、
とりあえずは、乗り越えられたのだと思います。

2008-08-19 17:10:50

ご無沙汰しています。
先回の記事を書いたから色々ありました。

その後、退院直前に
MRI検査をしたのですが、

手術直後は脳全体が黒くなっていて、
腫瘍がなくなったことを示していましたが、
それから約1ヶ月後の今回の写真には、
また、同じ場所に白っぽい影ができていました。

体調は回復して、脳の障害もかなり改善されてきて、
これなら日常生活も安心と思った矢先のことで、
かなり驚きました。

とりあえずは、退院。
1週間ごとに通院して
その影の状態を観察するということになりました。

退院後2週間前後はすごぶる順調で、
目の見え方も改善され、
脳の障害はほとんど感じられなくなり、
1～2度車を運転して買い物にも行ったほどでした。

心の底で、あの影は気になってはいましたが、
目の前の父が元気なので、
このままずっといてくれればとも
淡い期待を感じていました。

退院後、最初の外来では、
脳の状態に変化がないとのこと。
なんでも、癌だと確認されなければ
治療ができないとか.....

素人には判断がつかないので、
お医者さんにお任せする他はないのですが、

手術して、経過観察というだけで、
治療も抗癌の対策もないまま
時間が過ぎていくのがもどかしかったです。

そして、3回目の外来に行った時に
影の部分が大きくなっているのが確認されました。
3cmくらいに大きくなっているので、
そのまま放射線治療もできるが、
ギリギリの大きさだとのこと。

できれば、再手術で小さくしてから
放射線治療をした方がいいとのこと。

まさか、再手術ということになるとは
思ってもみなかったので、
本人はもちろんのこと、
家族もみんなショックでした。

そして、8/21日に入院、
26日に再手術に決まりました。

現在、入院まで自宅で待機している状態。
一時はかなり改善してきた脳の障害は
また日に日に悪化しています。

もう、新聞が読めませんし、
読んでも何が書いてあるのか理解できないそうです。
朝昼夜に自分で管理して飲んでいたお薬も、
どれを飲んだらいいのかわからなくなってしまいました。

かといって、
何もかもわからないかということ、
そうではなくて、

一部分はしっかりしている部分もあるので。

昨夜は、夜起きてトイレへ行った時
階段を踏み外したらしく、
転んで腰を痛めてしまいました。

父達の寝室は中二階になっていて、
数段の階段がついているのです。
元気な時はともかく、
半盲の状態、
身体もなかなか自由にならない状態で、
階段を移動するというのは危険かもしれません。

幸い、打ち身だけのようでしたが、
強く打ったようで、
「痛い、痛い」を連発しています。

とにかく、悪性の腫瘍のことですから、
このまま置いておくわけにはいきません。
父には、もうひと頑張りして
もらわなくてはなりません。

お医者様に「もうだめです」と言われないうちは
まだまだ希望があります。

そう気持ちを切り替えて、
あとひと山越えようと思っています。

手すり

2008-08-20 11:08:13

昨晚、叔母と電話で話していて、
父が階段から足を踏み外したという話をしたら、

さっそく、手すりを取り付けるために
息子(私の従兄弟)を派遣してくれました。

昨夜電話して、今朝来てくれたという早業に。
驚いたり、感謝したり。

ホームセンターで材料を買ってきて
取り付ければいいことらしいのですが.....
日曜大工などに縁のないわが家族では
なかなか動くことができませんでした。

おかげで、ゆっくり気をつけながらですが、
安全に階段を使えるようになりました。
周囲に助けてもらえるのは、
とてもありがたいことです。

再手術でした

2008-08-26 23:32:02

今日、父の再手術でした。

おかげさまで成功。

面会した時には、まだ麻酔でぼーとした状態でしたが、

意識も回復して、話しかける言葉には反応して、

「今何時だ？」と、一言話すこともできました。

現在はICUで経過を観察中です。

21日に入院してから、

父の状態は日に日に悪くなって、

ほとんど言葉が出ない状態。

何か言いたいのに、

言えなくて辛い様子でした。

最初はペットに座ったり、

立って自力でトイレにも行けたのですが、

寝ていることが多くなり

介添えがないとトイレにも行けなくなっていました。

また事前の検査で、

昨年手術した肺が、少し萎縮気味とのことで、

手術に備えて肺に管を通したりと

先回の手術よりはさらに

慎重が必要になったようでした。

手術内容は前回とほぼ同じとのこと。

ただし、傷の回復を考えて

前回よりは少し大きめに切るとのことでした。

ともあれ、約4時間の手術

順調に行ったとのことでした。

今回は、先生から取り出した腫瘍を見せていただきました。

ホルマリン液の中に
黒っぽいフニャフニャしたものが浮いていて
まわりに透明な突起のようなものが
出ていたように見えました。

思ったより大きくて4 cmくらいあったそうです。

これまでの経過からみても、
大きくなるのがとても早いみたいです。

母が聞いた話では、
看護婦さんが「年齢より身体が若い」と言っていたそうです。
若いと癌の進行も早いと聞いたことがあります、
そのせいなのか、どうなのかわかりませんが。

今後は、1週間くらいではやく体力を回復させて
放射線の治療をすることになりそうです。

もう3回目の手術はさせたくありませんから
それに、体力的にももう限界だと思います……

でも、転移性の癌ということですから、
そのまま放っておくことはできません。
できる限りのことを、
全てしようと家族と話しています。

2008-08-28 10:02:29

父の術後は、おそらく順調です。
さすがに2ヶ月間に2回の開頭手術なので、
回復は遅いみたいです。

前回は、翌日にはもう一般病棟に移れましたが、
今回はまだまだという感じです。

腫瘍の大きさも前回よりは大きかったので
脳に与えたダメージも大きいのでしょう。
それに痛み止めのせいもあるのかもしれませんが。

手術前はほとんど話せなかったけれど
言葉はよく出ているようです。

まだ意識があるような、ないような感じなので、
意味不明のことだったりもしますが、
問いかけには返事ができています。

母がしつこく何度も
自分がわかるか？、見えるか？ と問うので、
うるさくなったらしく、
「黙ってる」と怒っていました(笑)

まだお医者様からは
次の段階の治療に関して説明がないので、
推測でしか考えられませんが

夜に、夫と放射線治療をするに当たっての
資金繰りの相談など

ネットで調べた範囲では
治療法によってかなり差があるみたい。
1回70万円前後から300万円以上

治療回数にもよりますし、
保険の適応されるもの、されないものもあります。

これまでの先生からのお話から
このあたりかなあと
見当をつけたりもしました。

リニアック、またはガンマナイフと言われる治療法が
先生の説明に合致するかなあと予想しました。

この2つは保険適応なので、
助かるなあとも思いましたけれど(笑

参考：[NPO法人 脳腫瘍ネットワーク](#)

夢？

2008-08-29 09:08:33

父はまだICUです。

先回の手術は翌日にはもう
一般病室に戻れたのですが、
今回は少し長くなりそうです。

身体につけていた管がとれて、
点滴だけになったので、
少しは楽になったのではないかと思います。

父は血管が細いらしく、
看護師さんが点滴の針を刺すのに苦労しています。

特に左手には何カ所も鬱血した痕が
赤い痣になっている部分があって
痛々しい感じです。

面会に行くと、色々お喋りはしているのですが、
まだちょっと正常な内容とは言えません。

麻酔が覚めるときにでも夢見たのでしょうか。
なんだか怖い夢を見たらしく、
そのことを話していたり、

世話をしてくれている看護師さんのことを、
「どうも疑わしいんだ」と言ったり(笑

みんな治そうとしてくれているのだから
信頼していいんだよと、何度も言い聞かせたら
納得して安心したようでした。

まあ、脳の手術ですからね。
先回も身体はもっとしっかりしてましたけれど、
お喋りの内容などは、こんな感じでした。

手術して受けたダメージが回復するにつれて、
徐々にもどってくると思います。

土曜日に主治医の先生が
お話したいということなので、
今後のことがはっきりすると思います。

それと、叔母が介護保険の申請をしてみたらと
アドバイスしてくれて、
申請用紙をもらってきてくれました。

面接審査があって、本人の状態によるらしいです。
退院後の状態がどうなるかはまだ予想できませんが、
結果がでるまで1ヶ月くらいかかるらしいので、
来週にでも申請してみようかと思っています。

お話を聞いてきました

2008-08-30 17:21:54

主治医の先生のお話を聞いてきました。

今回の手術でICUに長くいるのは、
2回目ということで傷が大きくなったためと、
少し出血が多かったためだそうです。

脳の内部の腫れている部分も
以前より大きくなっているようで、
回復が少し遅いとのことでした。

遅いといっても、
まだ手術して4日目ですからね。

「脳の内部の腫れている部分が多い」
ことが、言葉や行動面での障害が、
なかなか改善されない原因なのでしょう。

腫れがおさまれば
良くなって行くと期待しています。

そして、これからの治療に関して
説明をしていただきました。

まずは、紹介された放射線治療の病院へ
来週後半に診察予約をしてくださいとのことでした。

電話で9月4日に予約をしました。
この診察で、放射線治療の日程など説明があるようです。

今の病院に入院していると、
他の病院で診察ができないらしいので、
いったん退院して、放射線治療の病院で診察し、
また、今の病院へ戻って入院。

そして、放射線治療の日には、
また退院して、放射線治療の病院へ、
おそらく2～3日の入院の後に
また、かかりつけの病院へもどって入院と、

何度も入退院を繰り返すことになるようです。

一般病棟へ

2008-09-01 10:29:38

昨日の午後、父は一般病棟へ移りました。
神経質な人なので、個室を希望しているのですが、
空きがないとのこと。
個室なら母も付き添いできるのですけれどね。

しばらくは大部屋で我慢しなくてはなりません。
常にまわりがガサガサ騒がしいので
落ち着かないようすでした。

でも、前日より顔のむくみもとれて、
だいぶ引き締まった顔つきになっていました。

ひっきりなしのお喋りは少し収まったので、
回復傾向にあるのだと思いますが、
今度はまた言いたい言葉が出てこない状況です。

私自身ですが、今日はなんだか少し、
「疲れたなあ」と感じてしまいました。
夏の疲れもあるのかもしれませんが。

これまでは、あまり疲労感を感じることもなく。
気分も安定していたと思うのですけれど。
ちょっと力を抜いてしまったら、
なんだか身体が動かなくなってしまいました。

まだ続きもあるので、
少しゆっくりお風呂につかって、
のんびり気分転換をしました。

ガンマナイフ

2008-09-04 23:40:28

放射線治療の病院へ

父を連れて行ってきました。

そして、今夜は1泊だけ自宅へ戻っています。

今日は、紹介状や頭部の写真を渡して、

治療についてのお話を聞き、

治療日程を決めるのが目的でした。

放射線治療の病院は、自宅から2時間半。

かかりつけの病院からは1時間半かかります。

手術間もない父が行くにはちょっと遠いのですが、

この程度の距離に、

治療していただける病院があるのは

幸いとも言えるかもしれません。

目的は脳にある癌の再発防止。

もしくは、万が一再発したとしても

進行を遅らせることが目的になります。

本来ならば、手術後は

1ヶ月程度経ってじゅうぶん回復してから

するものらしいのですが、

父の場合は、前の手術の例もあって

進行がとても早いので、

できるだけ早めにしましょうと

配慮していただきました。

ガンマナイフの治療の

身体へのダメージはかなり少ないとのことで、

アメリカなどでは日帰りでの治療をしているらしいです。

日本の場合は治療日をはさんで3日間ということ。
入院して検査などをし、翌日治療、その次の日に退院
という予定になるそうです。

現在の父の状態は、
だいぶ回復はしてきましたが、
左後頭部を手術しているため、
右の視力が無くなっているのと、
右半身が動きにくくなっています。

今のところまだ、支えがないと歩くのが困難。
毎日リハビリをしていただいているので、
徐々に回復するのではないかと期待しています。

言葉が出にくいのもまた続いていますが、
以前よりはかなり意味の通る会話ができています。

つらいです

2008-09-05 10:06:29

叔父が顔を出すたびに
父の最初の手術は失敗だったを連発。

私の前だけならともかく、
父のいる前でも
医者が信用できないを連発。

だから、どうしたらいいのか？

それなら、今頃言わずに、
早く言ってくればいいのか。

がんセンターのような、
専門の病院へいけばよかったと、
今頃、言われたってどうしようもないです。

これまで相談に乗ってくれるわけでもなく、
今頃言われたって、どうしようもないです。

言われるたびに
毎回責められているようで……
叔父はそうではないというけれど、

叔父に言わせると、
前は失敗だったけど、
今回は成功したから良くなるそうで……

だから、何？と、言いたい。
だからどうすればいいのかと？

そんな気持ちが積もり積もっていたので、
今朝、叔父が来て、また言い始めたので

気持ちが高ぶってしまい、
叔父と、父の前で
大声で泣いてしまいました。

内心少し叔父への牽制の意味も込めて、
30%くらいは計算ずくの「泣き」でもあったのですが

これまで人前で泣くことがなかった私が
なりふり構わずに泣いたということで、
結構、効果はあったろうと思います。

こういう時には女の武器も便利です。

ともあれ、2人の叔父が亡くなってしまった現在
叔父は唯一の父の兄弟ですから、
心配する気持ちは理解できます。

だから、叔父には責めるつもりはなくとも、
叔父にとって大切な兄弟である父に
つらい思いをさせていると、
責められているように感じてしまうのです。

2008-09-06 11:27:52

昨日のエントリー記事

ちょっと感情的になりすぎてますね。

なんだか、色々積み積み積もっていたものが
噴き出してしまったようです。

後で読むと恥ずかしくなりそうですが、
あえて消さないでおこうと思います。

父の病気については、
とくに迷ったり、
悩んだりしていることはありません。

転移性脳腫瘍

それも進行が早い癌であるという

よく考えてみると、
「すごい病気なんだなあ」などと、
のんきに考えているほどで。

癌イコール死というイメージは
まったく持っていませんし、

父のこれからの未来には
病気からの回復と、
穏やかな生活を確信しています。

だから、今すべきことをしよう。
しなくなてならないことをしようと思っています。
それが辛い、大変だと思うことはありません。

ただ、時々ちょっと
悪い方向へ気持ちが向いてしまうこともあります。

父が2回も手術をしなくてはならなかったことに関して、

診察に付き添った時に、

もっと積極的に治療を要求すればよかった。

なぜ、癌が復活したらしいと聞いた時に、

なんとかしてくれと、

もっと強く主治医に詰め寄らなかったのか

後悔する気持ちがあります。

でも、いまさら言って

もともどるものでもないですからね。

やはり、今できることをして行くしかありません。

退院しました

2008-09-15 16:03:40

今日、午前中に父が退院しました。
明日からの放射線治療のためなのですが、

今の病院でする外科的な治療は
一通り終わったためです。

リハビリの方はまだ不十分な気もするのですが...
日常生活のなかで徐々に
復帰して行くようになるのだと思います。

前回放射線治療の病院へ行った時に比べると
身体の動きはかなりしっかりはしていますが、

なんと表現したらいいのか
少しボーッとした状態で
覇気がないというか、気力がないというか
いつもの父とはかなり雰囲気違ってきます。

右側が見えないためと、
筋力も落ちているので、
介添えなしに歩くのは危険です。

まだまだ、色々と気にかかる部分はあるのですが、
当面は、17日のガンマナイフで
ガン細胞の活動が抑えられるのを期待する状況です。

行ってきました

2008-09-19 16:41:05

ガンマナイフという放射線治療
父の付き添いで行ってきました。
後ほど詳しく書こうと思いますが、

全身麻酔をする開頭手術に比べると
ほとんど負担がないと
言っているくらいに見えました。

でもショックなことに、
2回目の手術から1ヶ月足らず
なんと、小さな癌が7つも増えていました。

これが転移性の恐ろしさなのでしょうね。

いただいたパンフレットには、
治療をして約2ヶ月で
転移性の癌が消えたという症例がありました。

今回した治療の効果があってくれればと
祈るような気持ちでいます。

でも今回効果があったとしても、
また別のところに出現しないとは言い切れませんから、
次々と襲いかかってくるモンスターに
間近に向き合っているみたいな気分です。

とりあえずの平穩

2008-09-24 09:24:47

その後、とりあえずは平穩な日々を過ごしています。

父はもう、以前のように戻れないだろうとは思いますが、
身体の動きや、言葉の出かたなどは、
ほんの少しずつ回復しているように見えます。

だいぶ歩けるようになってきたので
ゆっくり一人で歩いてトイレに行くことと
母の介添えで入浴もできるようになりました。

病人を見ていて、改めて気づいたのですが
身体が弱っている人にとって
トイレへ行くことは重大なことなんです。

無事にトイレを済ませられると
ひと仕事終わったという感じで(笑
ほっとひと息です。

食べて、排泄して、寝るという
健常者には当たり前のことが
こんなにも大変で、大切なことなんだなと
痛感しました。

半盲という状態。
両方の目の半分ずつに障害があるので、
私にはどう見えているのか想像もできませんけれど、
見え方がおかしいため行動にも支障がでているようです。

また、記憶の持続もできないので、
不安に感じているようす。

通院の日にちや時間、しなくてはならない予定などを
何度も繰り返し確認したりしています。

ガンマナイフの治療について

2008-09-29 12:08:59

先日父が受けてきた、
ガンマナイフという治療について
もう少し書いてみようかと思えます。

脳腫瘍の治療について情報を集めて
偶然このブログにたどり着いた方の
参考になれば幸いです。

[ガンマナイフ](#) というのは、

開頭手術をしなくても治療でき、
脳腫瘍等の治療に効果があり、
身体にも負担がない治療方法です。

コバルト60という物質をエネルギーとした
放射線(ガンマ線)を、ピンポイントで
患部に集中してあてるので、
周囲の健康な部分への影響が少ないそうです。

ただ、病巣の状態によっては、
あまり大きな腫瘍の場合、数が多い場合など
開頭手術の方が効果的な場合もあるので、
お医者さまの判断によるようです。

現在、ガンマナイフの治療機械は
全国に51台とまだ数が少なく、
[治療できる病院](#) も限られています。

治療の料金は、現在1回50~70万円程度

現在は保険適用になったので
そのうちの個々の負担%だけの支払いですみます。
経済的な負担はかなり軽減されていると思います。

ガンマナイフの治療を受けたい場合は、
直接病院に予約して診察をお願いする方法と、
主治医に相談して紹介状を書いてもらう方法があります。

私の父の場合は紹介状を書いていただいて
放射線治療の病院へ診察に行きました。

おおまかな流れは以下の通りでした。

- 1 主治医が放射線治療の病院へ
事前に電話連絡をしてくれました。
- 2 主治医からの指示で、
電話で放射線治療の病院の診察予約
- 3 予約当日診察を受けるため、
本人を連れて放射線治療の病院へ

紹介状と父の頭内部の写真、健康保険証等を持参
治療についての説明と、治療日の予約、承諾書等の書類作成など

治療日をはさんで、前後2泊
3日間の入院になります。
(本人と、必要なら付き添い1人可)

- 4 治療前日 指定時間に放射線治療の病院へ
CTやMRI、レントゲン、血液、尿等の検査各種
看護師から病歴や患者についての詳細な質問がありました。
(入浴できる人は寝る前に指定のシャンプーで洗髪)

夜10時以降は、水と食事が禁止になりました。

- 5 治療当日
午前中 看護師が点滴をして、治療室へ
頭を固定するフレーム装着(局部麻酔使用)

フレーム装着後は、水・食物を摂れます。

午後 照射治療 状態にもよりますが2～3時間

頭は固定されますが、身体は多少動かさず
治療途中にトイレに行くこともできたいです。

治療後は、通常食。

- 6 治療後日 フレーム装着時の傷消毒
医師からの説明
退院

その後は、かかりつけの病院で診察を受けながら
3ヶ月に1回程度、データを持って放射線治療の病院へ

※フレーム装着について

頭蓋骨のごく少しの部分に
スクリューと言われる金属を入れて固定します。
装着時には少し痛みがあるので、局所麻酔をします。

父も、この時は少し辛かったという感想でした。
それでも開頭手術に比べるとずっとマシとのこと。
痛みはその時だけで、装着後はなかったようです。

フレームを装着してからは、
いったん部屋に戻って休息になります。
食べ物、飲み物を摂っても良くなります。

運ばれてきた昼食も普通に食べられました。
ただ、フレームで口の部分が狭くなっているので、
スプーンで、食べさせてもらわないと食べにくいです。
飲み物もストローでないと飲めない状態でした。

当日はストローは手元になかったので、
空になったペットボトルに、
お茶を入れて飲みました。

それと、視界が限定されるので、
トイレに入る時など、足下に注意が必要でした。

※治療について

治療の最初の部分だけは、家族にも見せていただけました。

治療室は装置のある部屋と、操作する部屋と2部屋続きで。
治療中は治療装置に入った患者だけが部屋に入り
お医者様方は隣の操作室で、
患者の姿をモニターで見ながらの治療になります。

患者はマイクを通じて会話できるので、
次に何をするのか、これから何をするのかなど
説明を聞きながらの治療になります。
そのため、患者が孤独になる心配はありません。

患者は、治療機械のペットに寝て
機械についているヘルメットのようなものに
頭につけたフレームを固定して動かなくなっています。

身体は膝の部分にタオルのようなものが当たっていて
膝を立てた状態で寝るようになっていて、
腰のへこみの部分が平らに
ベットに当たるように工夫されていました。

頭の部分は固定されて動かせませんが、
それ以外の身体は動かしても良いということでした。
手はあまり頭の方に上げると
機械にはさまって危険ということは注意されていました。

また、父は途中でトイレへも行けたと言っていたので、

長時間の治療になっても、
そのあたりの心配はなさそうです。

治療が始まると、
治療室と操作室の間の扉が閉められます。

操作室のモニターで見ていると。
患者の寝ているベッドがゆっくり動いて
頭の部分が照射する場所に移動しました。

そのまま、コンピューターに入力されたデータによって、
何度か照射が繰り返されるようです。

病状にもよると思いますが、
父の場合は全体で3時間くらいでした。

※治療後

治療後は、フレームをはずして病室へ戻ってきます。
フレームをはずす時の痛みはなかったとのこと。
念のため、食後に痛み止めを飲むように指示されましたが、
父によると、痛みは感じないとのことでした。

診察

2008-10-01 14:58:07

ガンマナイフの治療を受けた後はじめて
かかりつけの病院へ行ってきました。

いただいてきたMRIの写真やお手紙を
主治医に渡すのがメインの目的でした。

治療の効果は、すぐに出てくるものではないので、
1ヶ月後に当たる時期に検査しましょう
ということになっています。

父の身体は、だいぶ回復はしてきましたが、
足がスムーズに前に出ないため
歩幅が狭くバランスを崩しやすい状態です。

また、見え方のせいだと思うのですが
一直線に歩いているつもりでも、
だんだん左へ寄って行ってしまいます。

それでも、筋力をつけるために
頑張って歩こうと努力しています。

先月、退院直後に一度、
別の科の診察にも来ているのですが、
その時は車いすでの移動でしたけれど、

今回は、ゆっくり ゆっくり歩いて、
最後まで車いすを使わずに
歩き切ることができました。

そんな些細なことが、
見守っている私の喜びにもなります。

追記：

実は、この時、私だけが主治医に呼ばれて
ひとりで話を聞きました。

やはり、なかなか厳しい状態のようです。
もう、末期状態に入っているとのこと。

最後はどのようにしますか？
と聞かれました。

病院で最期を迎えるか、
それとも、自宅で看取るかというお話でした。

その時の私にはとてもすぐに決められませんでした、
最期の時を家族だけで迎えるには不安が大きすぎます。

それで、病院でお願いしたいと言いました。

先生は、わかりましたと答えて
「状態が変わったら救急車で連れてきてください」と言われました。

はい、と答えたものの

かかりつけの病院は、救急車の搬送地区外に当たるので
以前、父の血糖値が下がって、救急車に運んでもらおうとしたら
断られて、近くの病院へ連れて行かれたという経験がありました。

イザとなった時、瀕死状態の父を、果たして救急車が
かかりつけの病院まで運んでくれるかが心配でした。

それに、「イザになったら来てください」と言われても
その、イザがいつなのか？ どんな状態を指すのか
素人では判断できるだろうか心配でした

もしも、搬送途中でなすすべもなく亡くなったりでもしたら……

やはり、大きな総合病院ではこれが限界なんでしょうね。

ベッドはいつでも不足状態なので、

もう治癒の可能性のない患者に、
長いことベットを使わせるわけにはいかないのです。

でも、まだ諦めたくない……

母にもまだ希望を持っていて欲しいので
いよいよとなるまでは、黙っているつもりです。

夫と妹夫婦にだけは話そうと思います。

介護保険

2008-10-02 15:28:36

9月末に介護保険の申請を出していたのですが、今日、面接調査員の方が来てくれました。

介護保険の申請は、市役所で指定の用紙をもらってきて必要事項に記入し、介護保険証を添えて提出します。

後で、「介護保険証を預かりました」という確認の書類と、正式に介護保険が適応されるまで、介護保険証の代わりになる書類が送られてきました。

申請時に、面接調査に来てもらう日時を打ち合わせしておきます。

面接調査当日、係員の方が自宅を訪問して、規定の質問や観察事項などを通して、介護対象になる人が、どんな状態なのかを判断することになります。

質問内容は、日常生活を送る上での細々した動作について。自立してできるか、見守りが必要か、全面的に介護が必要かなど。

状態を選択記録した他に個々の状況などもメモされているようでした。

質問内容は「認知症」に関係するようなものが多かったように感じました。高齢者福祉になるので、そうなるのでしょうか。

介護保険の審査の場合は、

病状がどうかというよりも、
どれくらい家族の補助が必要なのか
という当たりを中心に調べるようです。

結果が出るまでは、
1ヶ月くらいかかるそうですが、

もしも、今すぐにでも介護保険の適応が必要な人の場合は、
認定前にサービスを受けられる特例もあるらしいです。

介護保険のサービスを受けるためには、
担当の「ケアマネージャー」さんをたてて、
アドバイスやサポートをしてもらえるようです。

また、面接審査は初回の1回だけでなく、
半年後にもう一度あり、
その後は1年に1回ずつあるそうで、
対象者の状況の変化によって、
ランクの見直しがされるそうです。

微笑ましい風景

2008-10-03 14:00:21

毎朝、私がバタバタ家事をしていると、
父と母が食卓に並んで
楽しそうに食事をしています。

ふたりのまわりだけ、
時間がゆっくり流れているような
微笑ましい姿です。

目に入りやすい位置に皿を並べてあげれば、
母の手をかりずに、
お箸できれいに食べられるようになりました。

脳の機能が十分でない時は
お茶碗を口につけて掻き込んだり
ごはん粒がポロポロこぼれたり
という時期もありましたけれど、

今は、もう普通に食事が食べられます。

母が飲みにくい薬を差し出すと
嫌そうに顔をしかめながら飲んでいたり、
みていると嬉しくなるほど。

父は、一時書けなくなっていた文字が
また書けるようになってきたと喜んでいます。

手帳にボールペンで、
その日にあったことなどメモしています。

どうかこのまま、
平穏な日々が続いて欲しいと
毎日祈るような気持ちです。

お腹いっぱい

2008-10-06 11:56:32

妹と食事してきました。

近所のファミレスでしたけれど、
久しぶりに色々お喋りしたので、
楽しかったです。

特にストレスを貯めているという
実感はなかったのですが、

たくさん喋って、お腹いっぱい食べて、
帰る頃には、なんだかとても、
肩が軽くなったような気分でした。

2008-10-14 14:00:23

父の体調は、今のところ、
一進一退と言ったところで、
毎日状態が違います。

言葉はかなり改善してきて、
普通に会話が可能になりました。

いくつかの言葉は出ないらしいのですが、
その言葉を使わずに、
別の言葉で話しているそうです。

また、父の貯金関係のことで、
銀行へ行ってきて欲しいなど、
少し複雑なことも、思い出したり、考えたり
できるようになってきました。

でも、色々頭を使いすぎると、
その後頭痛がしたり、疲れたりするようなので、
長時間そのことに関わらせないようにしています。

どうしても右半身が動かしくいため、
身体のバランスがとりにくいのと、
目の障害もあるので、
一人で自由に歩くことができません。

夫が廊下に手すりをつけてくれたので、
手すりを支えにして、
介助を受けながらという状況です。

父がこういう状況になって、
つくづく不便だなと感じたのは、
貯蓄や資産運用関係の手続きです。

貯金や定期預金程度ならわかるのですが、
父が契約した内容について、
金融の知識のない私には、
何が何だかわからない状態で

届いた書類を読んでも
何をすればいいのか理解できなくて
ホント困りました

でも、今回父が理解できるようになってきたので、
それを解約してきて欲しいと頼まれたわけです。

で、銀行へ解約しに行きましたら、
本人でないので、なかなか面倒なんですね。

本人自筆で解約申請の書類が必要とのことで、
「自筆」と言われても、困ってしまうわけです。

健康な人なら何でもないことなのですが、
今の父には書けないのです。
(一時書けるようになっていましたが、
また書けなくなりました。)

幸い(?) に、その契約は、今年の11月末になると、
自動的に普通預金に振り込まれるものらしく、
そのまま放っておこうということにしてみました。

解約時期によって、
戻ってくるお金が変わるらしいのですけれど.....
全然、資産運用になってませんね(笑)

そんなこんなで、
毎日バタバタと過ごしています。

2008-10-20 16:17:28

父が退院してから、約1ヶ月
いわゆる「介護」の生活に
毎日試行錯誤しています。

父の体調は、毎日違っていて
どう対処したらいいのか、
迷うことが多いです。

何がどう困るのかと言って、
うまく説明することは難しいのですが.....

1つは、食事の量や固さなど
なかなか適量がみつからないでいます。

身体が弱っているせいか、
食事が消化しきれずに、
吐いてしまったりすることがあります。
胃が3分の1しかないのも原因かもしれません。

それに、すぐに寝たくなってしまおうので、
食べてすぐに寝てしまうと
消化しにくいというのもあるのかもしれない。

寝たきりにならないためにも、
消化のためにも、
少しでも起きていて欲しいので、
それを説得するのにも少し苦労します(笑

そんな、ちょっとしたことなのですけどね。

どうやったら、美味しく食事をしてもらえるか、
どうやったら、起きていてもらえるか、
どうやったら、気分が悪くならないように過ごせるのか

どうやったら、快適にトイレができるのか
どうやったら、少しでも歩いてもらえるのか……

毎日が、試行錯誤です。

15日の午後は病院へ行く日だったのですが、
お昼に気分が悪くて、目眩がしたり
吐いてしまったりしたために、
行くことができませんでした。

お薬が無くなってしまっているので、
私だけが状態を説明しに行って、
処方箋だけいただいてきました。

予定していたMRIの検査ができなかったので、
ガンマナイフの後、どんな状況なのかは
まだわかりません。

それも、ちょっと不安になっています。

介護保険の認定

2008-10-27 18:36:29

24日に、介護保険の認定の書類が届きました。
やはり、審査してから1ヶ月弱でした。

審査するのは、月1回と決められているようで、
申請した時期によって、少し前後するそうです。

認定結果は、要介護2。
見守りや一部介助が必要な軽度の介護を要する状態。

父などは軽い方なんだなあと思います。
もっと重度の方を介護している家族を思えば、
私などは、まだまだ楽なのでしょうね。

参考 → [支援の区分](#)

同封の説明書によると、
まずは介護施設へ連絡をとって、
ケアマネージャーさんを決め、
どんなサービスを利用するか相談する。

それから契約した介護施設名を、
所定の届け出書で市に提出ということでした。

介護施設と連絡しろと言われても……
認定施設の一覧表は同封されていましたけれど、
名前と住所電話番号だけでは、
どこへお願いするとも決めかねてしまって、

とりあえず、市の社会福祉協議会へ連絡をとってみました。

残念ながら、社協の介護施設はいっぱい、
新しい人を受け入れる余裕はなかったようなのですが、
空いている他の施設を紹介してもらえました。

市の認定施設であっても、
個人事業者の場合は、
設備や人材など色々特徴があるようです。

紹介していただく時に、

まずは

「どんなケアが受けたいか」ということを聞かれました。

父の場合は、歩行訓練などの
リハビリが受けたいことと、
日常生活をする上での補助器具や
住宅改造などの情報が欲しいということをお話ししました。

その後の対応は、すごく早くて
社協からその施設へ電話連絡をしていただき、
折り返し、自宅へ連絡が入り、
その日の午後には、ケアマネージャーさんが
打ち合わせに来てくれるという状況、

もっと、時間がかかるものだと思っていたので
あまりのスムーズさに驚きました。

それと、実のところ、
ケアマネージャーさんとお話しして、
私自身の感じていた不安も
少し解消されたのは助かりました。

介護される本人もですけど、
介護している家族にとっても
とても救いになるものだと感じます。

ひとまずは、週2日のデイケアを試してみることにしました。
送迎付きで、リハビリとお食事、
入浴などをさせてもらえるとのこと。

集団行動ができるか、心配でしたが、
嫌なことはする必要はなく、
どんな過ごし方をするのも自由で、
疲れたらベッドに横になっても良いとのことでした。

デイケアをするには、
担当医師の健康診断書が必要とのことで、
実際にはじめるのは少し先になります。

また、市役所への届け出提出など
手続き各種はすべて、
ケアマネージャーさんがしてくれるそうで、
そういう意味でもとても助かりそうです。

ヒゲそり

2008-10-28 11:52:41

女2人の姉妹で育って、
夫を手伝うこともなかったので、
男性のヒゲそりって、気にしたこともありませんでした。

男性のヒゲって毎日剃らないと
バリバリに伸びてしまうものなんですね～

少し前までなら父は、道具さえ揃えてあげれば、
自分で洗面台の前に立ってひげ剃りもできたのですけれど、

最近では、長い間立ってられないことと、
目の状態が悪いために
ヒゲを剃れずに伸びすぎでしまいました。

1cmくらい、長くなってしまったため、
今日はお天気も温かくて気持ちがいいから、
ひげ剃りをしようということになりました。

ヒゲが長いと電気カミソリも使えないらしいです。
そこで、コンビニでヒゲそり用カミソリを買って来て、
食卓の上に鏡を置いて準備。

シェービングフォームに、
洗面器と、熱く絞ったタオル等々

ある程度までは、
父が自分でできましたけれど、
うまく見えない部分は私が……

いやあ、難しいです。

喉仏のあたりなどは特に
傷つけるのではないかと、

怖くてビクビクものでした(笑

でもまあ、私が上手く剃れないと騒いだり
母が、代わってみるとカミソリを取り上げたり
父が痛いと笑ったりして、
結構楽しいイベントになったかもしれません(笑

仕上がりは、ちょっとマダラにも見えるのですが.....
父は我慢してくれたようで、
サッパリしたと喜んでくれました。

これからは、伸びすぎないように
朝食の後は、ヒゲ剃りタイムにしよう
ということにしました。

病院

父を病院へ連れて行ってきました。
先回は本人が行けなかったので、
今回は、ガンマナイフの治療をしてから
はじめての検査になります。

どうも、病院へ行かなくてはならないと思うと
緊張するのか、気持ちが少し不安定になるようなので、
今回は母も一緒に3人で行ってみました。

やはり娘だとどこか遠慮するようで、
母がいた方が安心できるみたいです。

身体がなかなか自由にならないため、
外出は結構大変です。

家の玄関を出て、
車に乗り込むまでが大仕事(笑)

病院へ着いてしまえば、
守衛の人が車の乗り降りなど
手を貸してくださるので助かります。

しばらく外出していなかったので、
父はかなり疲れた様子でしたが、
なんとか無事に行ってこられました。

それと、デイケアを受けるに当たって、
病院の健康診断書が必要とのことで
記入用紙をもらっていらしたので、
主治医の先生にお願いして書いていただきました。

不安感

2008-10-30 15:20:05

以前から主治医の先生に言われてはいたのですが、

最近の父は、徐々に認知症のような症状を見せはじめています。

赤ん坊に帰るとでも言ったらいいのでしょうか？
近くに誰かがいないと不安でしかたがないらしく、
呼んですぐに返事がないと、パニックになってしまったりします。

午前中に、私が買い物に出ている間、

母がちょっと庭へ野菜をとりに行ったらしく、
10分ほど庭にいた間のこと、

父が母を呼んだらしいのですが、
返事がなかったので、不安になって、
夢中で廊下を歩きまわって母を探していたそうです。

軽い支えがないと、しっかり歩けないはずなので、
さぞや必死だったのだらうと思います。

ほとんど泣き出しそうになりながら
「どこにいたんだ」と母を怒っていたそうですが、
転んで骨でも折ったりしたらと考えると
ゾッとしてしまいました。

本人に聞くと、
「転んだけど頭は打たなかった」そうで.....

怪我はしていなそうなのでひと安心ですが
やはり、もっと気をつけていなくてとはと
気を引き締めました。

お昼ご飯の時になっても、

まだ、腹を立てている様子で
なかなか食事をはじめないので、

それとなく話題をむけて
よくよく話を聞いてみると

一人にされてしまって不安なのではなくて、
外に出た母が事故にでも遭っていないか
心配したということです。

なんか、可愛らしい発言だなあと
微笑ましく感じましたけれど(笑

父の感じたことや、心配な気持ちなどを
すっかり話してもらって、

これからは、父の側を離れる時は
「洗濯物を干してくるよ」とか
「庭の掃除をしてくるよ」などと
何をしに行くのかちゃんと伝えるからね
ということにしました。

そうしたら、気持ちがスッキリしたみたいで、
こんな気持ちになれば
「ご飯が食べられる」と言って
その後は、機嫌良く食事をとることができました。

実のところ、元気な頃の父を思うと
とても複雑な気分になります。

でも、現状を受け入れて、
父が快適に過ごせるように
心がけないといけないなと思いました。

ほんの少しずつ

2008-11-02 18:56:45

一日一日が、とても大切に
貴重な時間なはずなのですが、
父の体調の変化に振り回される感じで(笑
一日がバタバタ過ぎていきます。

焦ってはいけない、
ほんの少しずつだと、
自分に言い聞かせながらも

父だけではなく、
私自身の不安感も増して行きます。

時々ケアマネージャーさんと
色々お話しができるので、
少しは救われるかなと思います。

父の健康診断書をお渡ししたので、
これから本格的なケアプランを、
建てていただく予定です。

先日、介護用品のお話しを聞きました。
普通なら介護用ベッドをレンタルするらしいのですが、
父が布団の方がいいというのでやめました。

その代わりに、
できるだけ起きている時間を増やしたいということで、
介護用の椅子をお借りすることにしました。

これまでは茶の間に籐椅子を置いて座っていたのですが、
座りにくいようで、腰が痛くなったりしていたので、
それに、どうしても寝ている方が楽なので、
すぐに寝たくなってしまおうので.....

レンタルは1割負担で借りることができるので、
我が家の家計でもなんとかなります。

その椅子が10月31日に届きました。
新しい環境にはなかなか慣れない父ですが、
今日は少し長い時間椅子に座って起きていられました。
リクライニングにもなるので、
お昼寝も椅子の上でしていたようです。

2ヶ月

2008-11-07 21:23:02

毎日何かしら事件が起こります。
後で考えると、色々滑稽なことも多いのですが、

まだ、なかなかそれを楽しむまでの
気持ちの余裕がありません。

最近の父は、かなり気持ちが不安定です。
突然パニックになったり、
感情が高ぶったり
考え方がすべてに悲観的で、

それをなだめるのに
とてもエネルギーが必要です。

介護生活がはじまって2ヶ月余り
ちょっと疲れを感じはじめています。

もちろん、父の前では、
そんな姿は見せられませんけれど。

でも、よく考えてみると
母がしっかりしてくるから
だいぶ楽なんだなと思います。

これで母にも倒れられてしまったら、
私一人ではどうしようもありません。

この生活は、今後何年も続いていくはずですから、
はやくこの生活に慣れていかないと考えています。

光が見えてきました

2008-11-11 21:58:33

今日、放射線治療の病院へ診察に行ってきました。

先日かかりつけの病院で検査した
MRIの写真と主治医の手紙を持って行って、
その後の経過を見てもらうのが目的でした。

父は昨日までは

「オレが行かなくては意味がない」と、
病院へ行くつもりでいたのですが、
今朝になって急にやっぱり行けないと言い出しました。

最近の父は寝起きがあまり良くないのです。
低血糖気味になっているのかなと思います。

グズって、(子供みたいですがまさにそんな感じ)
泣くわけではないのですが、
屁理屈のような文句を並べはじめます(笑

30分～1時間くらいそんな状態で
軽く何か食べると、だんだん目が覚めて来ます。

寒いのと、寝起きで機嫌が悪かったのと、
実際に低血糖気味で
起きられなかったのもあると思いますが。

今回は無理に本人が行かなくても良かったので、
夫と私と2人で行ってきました。

先日のガンマナイフ治療で照射したのは

手術をして腫瘍をとりのぞいた後の部分と
新たにできていた小さな腫瘍7つ

そのうち、手術した部分の後には

腫瘍の復活はみられませんでした。

最初の方は手術後1ヶ月で
また同じ場所に復活してしまっていたので、
再発が食い止められているというのは
ガンマナイフの治療効果なのだと感じます。

また、7つの小さな腫瘍のうち
6つはまったく消えていました。
残り1つは、まだ残ってはいましたが
小さくはなっていました。

ただし、また新たに1つ
小さな腫瘍ができていました。

これは、心配していた通りです。
次々に新しい腫瘍ができて
イタチごっこになるのではないかとということです。

そうなったら、
もう手術はできないのですから、
ただ腫瘍が増えるのを
見ているしかできないのではないかと.....

口には出して言えませんでしたけれど、
かなり不安に感じていました。

ガンマナイフは、そんなに何度も
治療できるものなのだろうか？

今回、恐る恐る放射線治療の先生に
うかがってみましたら、

大丈夫、できるとのこと。

実際にその病院では
1人で8回治療をした人がいるし、

他の病院では30回以上もした人もいる
とのこと。

何回もの再治療は
できれば、したくないことですが、

でも、次々に生まれた癌をつぶして行ければ、
父は、まだまだ生き続けられるということです。
少しだけ光が見えてきたような気がします。

新たな腫瘍はまだ小さいので、
月末に予定している検査の
写真を持ってまた来てくださいとのこと。

その時に、再治療の相談をしましょう
ということになりました。

デイケア 1 日目

2008-11-13 10:15:00

今日から、父は週 1 回
通所リハビリ、デイケアに通うことになりました。

入浴とリハビリが主な目的で、
さらに他人とのコミュニケーションが
とれるようになることにも期待しています。

持ち物などは、
ケアマネージャーさんから連絡があって、
事前に用意してありました。

バスタオル、タオル、バスマット
歯磨きセット、ひげ剃りセット
上履き、着替え、薬 等々

結構、大きな荷物になってしまいました。

いつも朝起きられない父なので、
また起きるのが嫌でグズるのではと
心配していたのですが。

自分から早めに目を覚ましてくれて、
早すぎてお迎えのバスが来るのを待つのに、
少し疲れてしまったようでしたが

無事に、行くことができホッとしました。

これまで家でワガママ放題でしたので、
夕方までの長い時間、居られるかなと
心配してはいたのですが、

案の定、途中で帰りたくなったらしく、
午後にはケアホームから電話が来て、

どうしても帰りたいと言われるので、
送って行きますとのこと(笑)

昼食後に、薬を飲んだあとに吐いてしまったのも、
帰りたくなった理由の一つのようです。
(最近、食事後に吐いてしまうことが多いのです)

初めての環境で緊張もあったのでしょうかね。

しばらくして、
ケアマネージャーさんと、
リハビリの職員の方が2人で付き添って、
父を送り届けてくださって、
ケアホームでの父の様子を説明して下さり、
「途中で帰るようになってしまって申しわけありません」
とまでお詫びの言葉もあつたりで、
かえって恐縮してしまうほどでした。

それでも、入浴させてもらってさっぱりしたし、
4時間も一人で家を離れていられたのは、
すごい進歩だと思います。

「次もお風呂だけでも入りに行こうね」と言うと、
嫌がっていないようなので、ほっとしています。

このままでいいのでしょうか？

2008-11-14 17:34:12

今日一日、父は
昨日の疲れを言いわけにずっと寝ていました。

少しだけでも起きようという
母の言葉に、耳も貸しませんでした。
寝床まで食事を運ばせて、
寝たまま食べていました。

そして、
何を言うかと言えば
「こんなになってしまって困ったなー」

なんというか、情けなくて
涙が出そうでした。

本人が一番つらいのでしょうかけれど.....

こんなに動けなくなってしまって、
こんなひどい病気になってしまって
目が見えなくなってしまって

父から出てくる言葉は
いつもネガティブです。

自分で自分を可哀想がって
それで安心感を得ているようにさえ
思えてきてしまいます。

確かに、気の毒だとは思うのです。
つらいだろうと思うのです。

でも、このままでいいのでしょうか？

これまでは、
父のネガティブな言葉に
なるべく共感するように努めてきました。

(ガンバレと応援しても
反発の気持ちができるだけなので)

そうか、それはつらいね。
そうだね、苦労しちゃうね。
そうなのか、そんな見え方じゃ見えにくいはずだね。

なんとか、なだめながら
食事には食卓に付くように、
食べたらしばらくは茶の間に
座ってられるように
努めてきたつもりなのですが.....

そういうやり方がいいのか悪いのか
わからなくなってきてしまいました。

なにか、もう少しでも
父に希望を感じさせられる言葉はないものか、
前向きに感じてもらうことはできないのか。

追記

後で知ったのですが、この時の父は、普通ならもう
意識を失って寝ているだけの状態だったようです。

少しでも元気でいて欲しいという私の思いこみで、
父に余計な負担を与えてしまっていたかもしれないと、
申しわけなく感じています。

トイレ

2008-11-17 11:23:52

これまで、夜には母と私が支えれば
なんとか自分の足で歩いてトイレに行けていたのですが、

昨夜はトイレのドアの前で歩けなくなって
廊下に漏らしてしまったり
トイレに座ってもやり方がわからないと
ズボンを下ろす前にしてしまったり

いつもとは違っていました。

このままでは、父の大変さももちろんですが、
夜に何度も起きて介助する母も疲れ切ってしまうそうなので、

ケアマネージャーさんに相談して
ポータブルのトイレを購入することにしました。

布団の近くでトイレができれば、
数歩歩くだけですむので
楽になるのではないかと期待しています。

大騒動

2008-11-20 10:43:49

父をかかりつけの病院へ連れて行ってきました。
なんというか、朝起こすところからすでに大騒動です。
時間が決められている行動というのが
とても難しくなりつつあります。

今回は8時半までに行かなくてはならなかったので、
家を出るのは1時間前。
さらに、行動すべてに時間がかかるので
余裕を見て7時には家を出たいと思っていました。

6時頃から

「そろそろ目を覚まして」と何度も声かけ、
6時半頃着替えに起こそうとしたら
案の定、起きられない、病院へ行けないと大騒ぎで.....

それでも、なんとか起こして着替えさせ
母と二人係でフウフウ言いながら車に乗せて

朝食は簡単なものを車に持ち込み
なんとか出発できました。

父は色々と病気の多い人なので
全部で5つの科にかかっています

今回は、血液と尿検査に
糖尿病、胃、心臓の3つの診察でした。

血液検査は無事に済み
尿検査なのですが.....
これは、毎回苦労してしまうのです。

イザとなると緊張して検査用の尿が出ない。
売店でお茶を買って飲ませたり

色々努力はするのですが診察の時間になっても
とうとう取ることができずに、キャンセルしてしまいました。

まあ、血液検査ができたので、
診察の判断にはなると思いますけれどね。
そんなわけで、なんとか無事に診察できました。

糖尿病の方は、血糖値がかなり上がって
カリウムの値も良くなかったようです。

このところ、朝食をとれなかったりして
薬が飲めないことが続いていたせいだと思います。
(現に、この日も朝の騒動でお薬が飲めませんでした)

それでも、夜間や朝は低血糖気味で
ぼーっとしていたり、手が震えていたりするので、
調整がとても難しいのです。

今日は、とても病院が混んでいて
予約の時間を過ぎても
なかなか順番が回ってこないため
父はかなり疲れてしまったようです。

診察の後、処置室で点滴を1本。
これにも1時間ほどかかりましたから、
疲れてしまった父は
「もう帰りたい」「勘弁してくれ」を連発で
なだめるのに苦労しました(笑)

全て終わったのが午後2時過ぎでした。
車に乗る前に、トイレに行こうと言ったのですが、

帰りたい一心の父は
行きたくない、そんなもの行かない！と
怒り出してしまって……

とりあえず、なんとか車に乗せて

家路についたわけです。

ところが、出発してほどなく
「オシッコがしたい、我慢できない」

車を止めろ言われても……

道が混んでいて車が詰まっているし
近くにトイレができそうな場所はないし、
道路に止めたら危険だし

それに、父の動けない足では
車から降りてトイレができるところまで行くまでに
漏れてしまいそうだし……

そこで、嘔吐した時のために
ビニール袋を入れたゴミ箱を積んでいたのも、
母が、それにしてしまえと(笑

でも、こんなところではできない
漏れてしまうと大騒ぎ

ちょうど、車の中で昼ご飯のお握りを食べたばかりだったので、
身体をよじてサポートしていた母は、
気分が悪くなってきてしまったりで大混乱。

もう、何がなんだか
運転しながら私の頭の中までぐるぐるパニックでした。

笑い話のようですが、
おもしろがっている余裕はありません(笑

父は20分以上もの間
ここでは出ない、出せないと叫びつつ
とうとう我慢できなくなって
ビニール袋を尿瓶のようにして
無事に済ませたようでした。

反省点としては、
車に乗る前に無理にでもトイレへ行かせるべきでした。
携帯用のトイレのようなものを用意しておくべきでした。

ポータブルトイレ

2008-11-21 13:45:41

先日、ケアマネージャーさんに相談してポータブルトイレの購入を検討しました。

カタログを見せてもらって、良さそうなのを注文してもらっていましたが、それが今日届きました。

手続き一切をケアマネさんがしてくれて、それも、あまり待つことなくすぐに対応してくださるので有り難いです。

ポータブルトイレというと、なんとなく子供の頃のおまるのイメージでしたが今のトイレは身体の不自由な人に使いやすいようにとても工夫されています。

高さや手すりの位置の調整、臭い対策、便座の温み機能それに部屋に置いても家具にとけ込んで目立たないようなデザインになっています。

身体を自由に動かせない人にとって、排泄は切実で重大な問題です。

誰でもプライドもありますからね

父も最初、オレが下の世話になるなんてという気持ちと手伝ってもらうのが申し訳ないという気持ちと辛かったと思います。

先日、夜にトイレまで歩いていけなくなってからは、尿瓶を使うようになってしまいました。

これは、娘の私には絶対やらせてくれなくて、
母が専門の係になっているみたいです(笑

まあ、小用はそれで良くても
大きい方は無理ですからね(笑

実は病院で入院中に使っていたトイレは
大きい方をすると部屋じゅう臭って
とても大変でしたけれど.....

今回購入したものは、
脱臭機能がついているものなので、
部屋に臭いがこもることなく使えて快適です。

ポータブルトイレはレンタルではなくて、
買い取りになるのですが、
介護保険対象者は1割負担で
購入できるのでとても助かります。

契約の時に、いったん代金を支払いますが、
市に申請を出すと
銀行口座に9割分が払い戻されるということでした。

そして、その手続きもすべて業者さん、
またはケアマネさんがしてくれます。

デイケア 2 日目

2008-11-22 08:51:55

父のデイケア 2 回目の日でした。
朝は少し行くのを嫌がっていましたが、
お風呂に入ってゆっくりして来ようと言うと、
気分を変えて
なんとか出発してくれました。

実のところ、嫌がっているのを
無理に行かせることに
とても迷いがあります。

でも、施設に行くことで
家にいるのとは違う変化があるのでは？
と、期待もしているのです。

どちらがいいのか、
私には判断がつきません。

今日は、途中で帰宅することもなく、
最後までいることができました。

ほとんどベッドで寝ていたようでしたが、
お風呂に入って、食事をして、
今回は嘔吐もしなかったとのことで安心しました。

帰宅前に、11 月生まれの
お誕生会をしてもらったとのことで、
写真入りの色紙や、可愛い観葉植物、
それに、職員の手作りなのでしょうか、
フェルト布を編んで作ったポプリを頂いてきました。

ケアマネさんによると
みんなの前でお礼の挨拶も
できましたとのことでした。

父は元気な頃は、
人前で話したり挨拶したりは仕事でしたので。
ちょっと複雑な気持ちではありますが。
でも、少しでも気持ちが
外に向いてくれるのは嬉しいことです。

また、母と私は、父の外出中に
父の寝ている部屋を大掃除でした。
普段はなかなか思い切ってできないので、
布団を干して、部屋の空気の入れ換えをして
だいぶサッパリしたと思います。

父を追い出したいわけでは決してありませんが、
週に1日でも外出してもらえると、
こういう利点もあるんですね。

また、いつも父中心にまわっている生活ですが、
ほんの少し、リフレッシュ時間が持てるのも
助かるなと思いました。

病院へ行ってきました

2008-11-26 09:09:01

かかりつけの病院へ行ってきました。
今回は、脳外科と呼吸器科(肺) です。

午後からの予約だったので、
父の機嫌もマアマアで、
なんとか無事に行ってきました。

ただ、MRIの検査の時、
どうしても動いてしまって検査できないと
職員の方が言いに来てくれました。

私が入って声をかけてなだめてみたら
なんとか落ち着いてくれたので
それでやっと検査ができました。

診察のあとで、
ガンマナイフの病院へ持って行く手紙をいただく時に
私だけ先生とお話しする時間がとれたのですが、
うーん なかなか厳しい状況ではあるようです。

ともかくも、
できるだけ早めにガンマナイフの再治療ができるよう
手続きをして行く予定です。

追記：
実は、この時、
私だけ主治医と話す機会があって、
これまで怖くて聞けなかったことを聞いてしまいました。

「あと どのくらい？」

答えは、

「12月まで頑張れるかな……」

でした。

色々と複雑な気持ちです

2008-11-27 19:03:37

ブログを書くことで
私自身の気持ちを整理しています。

実を言うと、心の中がぐちゃぐちゃで
でも、家族には弱気を見せられないので、
こっそりここに吐きだしているのが現状です。

今週に入ってから父は
あまり状態が良くなかったのですが、

昨日病院から戻ってからは
さらに弱々しくなったように感じます。

今日はデイケアの日でしたけど、
とても行ける状態ではなかったので
お休みの連絡をしました。

そして、介護椅子をお返しして
介護ベッドに変更していただくように
ケアマネージャーにお願いしました。

もう、食事を食べる間
身体を起こしておくことが難しくなっています。
でも、食べてすぐはお薬が飲めず、
お薬をのんだ後もすぐには寝られないので

その間、身体を支えるためにも
介護ベッドの方が良いと考えました。

決断

2008-11-29 14:07:58

昨日、夫と二人で放射線治療の病院へ行ってきました。
先日のMRI検査の写真と、
主治医からのお手紙を渡すためです。

本人は来られませんでしたと話すと
先生はMRI検査のフィルムを見ながら、

「そうですね。もう意識がないでしょう？」
と、いいました。

私が、「いえあります。ちゃんと会話もできています」
と答えますと

「そうですか、それは可哀想だな」
と、言われました。

それで、現在飲んでいるお薬とは別に
おそらくは、もっと強いものなのでしょう。

薬を出しますからと処方箋を書いてくれました。

父は、26日に病院へ行ってきてから
格段に体調が悪くなっています。

一日中ほとんど寝ている状態で、
ご飯とお薬の時だけわずかに身体を起こします。

検査の結果をみれば当然、
先生方にはどんな状態が、
よく解っていらっしゃるはずです。

進行がとても早いのです。

悲しいほどに早すぎます。

私達家族は、つい先日まで
再治療の可能性を信じていましたので
なかなかそれを受け入れることが難しいのです。

放射線治療の先生は、
家族の気持ちを安心させるために
再治療をするという方法もあるとおっしゃってくれました。

でも、そのまま静かに見守るのも
父にとってひとつの選択だとも言われました。

あとは、家族の気持ち次第とのこと。
一日家族で考えて結論を出しなさいと言われました。

待合室で支払いを待っている間
自然と涙が流れてきて止まりませんでした。

悲しいからではなかったと思います。

あきらめきれない気持ちと、
あきらめなくてはならないという気持ちと

心の中で複雑に絡み合っていて
自分の中でどうしようもなくなっていたのだと思います。

結局は、父の苦痛を考えて
再治療は断念しました。

弱った身体で放射線治療の病院へ連れて行っても
ガンマナイフの効果が現れるのを待つには
時間が足りなすぎるのです。

ほんとうに、ほんとうに辛い決断でした。
でも、家族の満足感よりは、

父の安静を優先しようと決めました。

介護ベッド

2008-12-01 13:13:12

午前中に、
以前お願いしていた
介護ベッドが届きました。

一応、父には事前に
話しておいたはずなのですが、
忘れてしまったんでしょうね。
勝手にこんなものを買ってきてと
かなり怒っていました(笑

高価なものだと考えたようで、
レンタルで、介護保険で補助がでるので、
安く借りられるんだよと説明しても
なかなか納得してもらえませんでした。

でも、怒っても、泣いても
父が感情を爆発させることさえも、
今は、とても嬉しい気がするのです。

もちろん、笑ってくれるのが一番なのですが、
残念ながらあまり笑ってはくれません。

でも、寝ている時に、
微かに微笑んでいることがあったり、
口に合う食べ物を食べた時
「うまい」と言ってくれたり

そんな小さなこと、ひとつひとつが
とても貴重なことに思えます。

ケアマネさんと相談して、
デイケアはやめることにして、
身体を拭いていただくために

ヘルパーさんを手配して頂くことにしました。

また、往診して相談にのってくださる
お医者さんもいるとの情報をいただいたので、
それもお願いしたいと考えています。

かかりつけの病院は車で1時間以上もかかるので
頻繁に相談に行くこともできませんし、
総合病院なので、
電話でちょっとアドバイスを頂く
というわけにもいかず、
これからかなり不安だったのです。

明日、そのことを主治医の先生に
お話しをしに行ってみようと思い、
病院に予約をしました。

主治医に報告

2008-12-02 11:22:23

私だけかかりつけの病院へ行って、
主治医の先生に放射線治療の病院でのことや
その後の家族の決断についてお話ししました。

それと、ケアマネさんの紹介で
訪問診療をお願いする予定だという話しもしたら、
担当医師が決まったら紹介状を書きますと
言っていただきました。

正式に決定したら、また
紹介状をいただきに行く予定です。

寝たきり

2008-12-03 13:38:46

介護ベットでの父の生活がはじまってから、
やはり「寝たきり」状態になったと言えます。

ポータブルトイレに移るのもきつくなったので、
おしめを使い始めました。

下のお世話は、主に母が担当していたのですが、
大人用のおしめをつけるのは難しくて四苦八苦。
痩せてしまっはいても、
男の人の身体はとても重いんですね。

事前に介護経験者の方にお話しをきいたり、
ヘルパーの叔母に実際に教えてもらったりはしたのですが、
なかなかスムーズに行かなくて.....

母と私で手順をあれこれ考えていて
「寒い」と父が叫んでしまったり
うまくできなくてやり直したりして、
「やめてくれ」と言わせてしまったり。

父にもだいぶ負担をかけてしまっています。

訪問診療

2008-12-05 11:49:04

ケアマネージャーさんが訪問診療の病院に連絡をしてくれました。

先生のお名前と電話番号とをいただいたので、私からも直接お電話してみたら、受付の方が「うかがっております」ということで、丁寧に対応してくださいました。

電話で父の状態の概要を話して、保険証や介護保険の番号などを伝えただけで、すぐにカルテを作成していただき、後ほど、訪問診療時間の連絡があるとのことでした。

ほどなく、夜になってしまうけれど先生が往診してくださるという電話があり、素早い早い対応にびっくりしました。

また、夕方には先生に先立って看護婦さんが来てくださって血圧や脈、父の状態を看てくれて、別室で、私が父の状況などをお話しました。

このクリニックでは、特に初めての患者さんへはできるだけ早くという方針なのだそうで。お願いしても実際は何日かかかるだろうと思っていただけに、即時、即日の対応はとても嬉しく心強いものに感じました。

また、夜中でも早朝でも、いつでも電話してくださいとっていただいて、最近では、緊急時の受け付け拒否など、色々困ったニュースばかりが多い中で

こんな風に対応してくださる病院もあるのだと感動してしまいました。

先生が来てくださったのは
8時過ぎ頃でしたでしょうか、

病状に関して、介護のしかたなど、
父にとっていちばん苦痛を感じない状態で
過ごす方法をアドバイスしていただきました。

これまで、お腹いっぱいになるほど
たくさん飲んでいたお薬の中から
必要最低限のものだけを選び出してくださって、
新しい処方箋を出していただきました。

これからはもう「治療する」必要はなく
(悲しいことですが、それが現実です)

苦しくない状態で、
できるだけ安静にすることが優先になります。

訪問入浴

2008-12-08 23:43:42

先日、身体を拭いていただくのにヘルパーさんをお願いしたのですが、訪問診療の先生の指示で訪問入浴と、訪問看護をお願いすることにしました。

ヘルパーさんとの契約もして、親切そうな方が来てくださることになっていたのですけれど、

やはり、病状を考えて医療専門の人にケアしていただいた方が良いとのことでした。

現在の父の脳はちょうど水の中に豆腐が浮いているような状態で、頭を動かすのが良くないとのこと。

急激に動かすと、ちょうど車酔いしたようなそんな気分の悪さがあるはずとのことでした。

ベッドの高さを変えるのも一気にするのではなく、少しずつ高さに馴らしながらした方が良いということと、

おしめをかえるときなど、ベッドの上で体を転がして体の向きを変えるのですが、それも良くないとのことでした。

また、それによって、病状の悪化の可能性もあるそうです。

知識のある方に聞かなければ、そんなことは思ってもみなかったことでした。

改めて、父の介護には

細心の注意が必要なことを知りました。

もっと早く知っていれば……とも思いました。
知らなかった分だけ、父に負担を強いていたかもしれません。

こういうサービスの申し込みや変更手続きは
すべてケアマネージャーさんがしてくれます。

ケアマネさん所属の施設だけでなく、
地域のいろんな施設、サービスと連携して、
より適したサービスを紹介していただけるのは
とても有り難いことです。

お願いしたサービスには
全て、訪問診療のお医者様から
直接指示を送っていただけるので、
父の状態に合わせたケアが受けられます。

そして、今日は、
はじめて訪問入浴をしていただきました。
介護士さん2人と看護師さん1名で、
ベットサイドまで浴槽を持ってきて
入浴させていただけるというサービスです。

父の入浴は、11月末に、
デイケアに行っていて以来ですから、
かなり久しぶりになります。

その間、顔や手足を拭いてはいましたけれど、
なかなかじゅうぶんというわけには行かず、
ヒゲも伸びてきてしまっていました。

今回は、ケアマネさんとお話しをしていたので
私は、実際の入浴の様子は見損なってしまったのですが、

「頭を動かさないという」ことを重視して、
入浴剤を使って身体を動かさないように、

入れていただいたようでした。

父は、少し疲れたものの、気持ちよかったようで、
入浴後は血行も良くなったのか、
ほんのりピンク色の頬をしていました。

それに、刺激を受けて食欲も出たのかもしれませんが。
いつもは、なかなか進まない食事
エンシュア(処方していただいた栄養のあるドリンク剤)も
だいぶ飲むことができたようでした。

支え

2008-12-09 17:57:03

父は錠剤のお薬が飲めなくなりました。
これまでは、ジェル状のオブラートに包んで
ツルンと流し込めていたのですが、
昨日からはもう、口を開いてくれなくなりました。

無理に口にいれると噛んでしまって
苦いお薬が歯に挟まって大変なことに.....

もう、固形物を飲み込むことは無理のようです。

処方箋を調剤していただいている薬局は
父が教員時代の教え子で、仲人でもあることから、
毎回無理難題をお願いしても
快く引き受けていただいています。

お店に置いてない薬は、
1時間もかけて取りに行ってくれて、
夜間でも厭わずに配達までしてくれます。

今度は、更に錠剤を砕いて粉末にしてくれと.....
普通の薬局さんなら、かなり無理なお願いだと思います。

また、以前ヘルパーをしていた叔母は
昨日から、午前・午後・夜と、日に3回ずつ
おむつの交換に来てくれることになりました。

母と私が上手にできないので、
見るに見かねてでもあるのですが.....

やはりプロがつけたおむつは外に漏れたりしないので、
母も夜間はしっかり睡眠がとれるようになりそうです。

いろんな方々に支えていただいて、

なんとか毎日を過ごしています。

毎回書いていますが、
こんなにも人の助けがありがたいものだとは
これまで感じたこともありませんでした。

その日

2008-12-10 01:40:11 (この記事は1週間ほど後に書いたものです)

前日、9日には、
訪問診療の先生が来てくださって、
お薬を粉末にすることや
父の苦痛を和らげるお薬を増やしたりなど
色々指示をしてくださいました。

それと、ここのところずっと下痢気味ではあったのですが、
便を出す力がなくなっていたため
古い便が腸に残って苦しかったようです。
それで、看護婦さんに便を出していただきました。

麻酔のようなものをして処置したようなのですが、
「痛い！」と言って辛がっていました。
でも、終わった後は楽になったようで
「よくできた」と言うようなことを話していました。

先生が戻られた後は、
ずっと、うとうとした状態だったのですが、
いつの頃からかシャックリが出て
止まらなくなってしまいました。

砂糖水を飲ませると、
一時的に止まったりはしていましたがけれど
少しすると、また始まります。

心配で、病院へ電話してみたのですが、
シャックリを止めるお薬や注射はないらしいです。

このままでは、体力が消耗するだろうかと心配でしたが、
私達にはどうしてあげることもできません。

なんとなく、いつもとは違うような、
気になる感じはしていましたが...

辛そうな様子でもなかったので、
その晩はそのまま休みました。

翌日の朝、私は普通に朝食の用意をして、
夫を仕事に送り出しました。

母は、夜に父の看病であまり眠れないので
ゆっくり寝てもらうために起こさず
私は自室に戻ってメールチェックなどをしました。

また、妹との連絡用にパスワード付きの掲示板を
作っていたのですが、
それに、父の状況報告などを書いたりしていました。

8時過ぎでしょうか、
そろそろ母が起きる頃かと階下へ降りました。

叔母がおしめの交換に来てくれていたらしく
ちょうど交換を終えたところでした。

母が何か変だと感じたのでしょうか
私の顔を見たとたんに
「先生に電話してくれ」と言いました。
せっぱ詰まった声だったので、
何も聞かずに急いで訪問診療の病院へ電話しました。

少しして、先生がこちらへ向かってくださっている
という連絡がありました。
病院からは約20分くらいです。

先生が来てくださるまでの間、
何をしていたのかあまり記憶がありません。

「コーヒーのむ？」と
コーヒー味の栄養ドリンクを差し出すと
父はコクンとうなづいて飲もうとしました。

身体が起こせないので
むせないか心配でしたけれど
ほんの少しだけ口に含んだようです。

また、「お茶は？」と言うと
また、うなづきました。
少しだけお茶を口に含みましたが、
いつものようには飲めませんでした。

気がつくのと、先生と看護婦さんが来て
点滴の用意をしてくださっていました。

お医者さんが、
「針を刺すのは可哀想ですか？」と
私に聞きました。

なぜそう聞かれたのか、
その時はわかりませんでしたけれど、
あとで考えると、
「もう最期の時なので痛い思いをさせない方がいいか」
と、聞かれたのかもかもしれません。

その時にはまだ、私は父が亡くなるなんて
まったく、考えにも浮かびませんでした。
「お願いします」と私は答えました。

看護婦さんはうなづくと、
父の足の付け根に点滴を刺しました。
もう、手の血管は細くなりすぎて刺せないのです。

そうこうしているうちに叔父が来ました。
叔母が、他の叔父や叔母に連絡したのでしょうか。

母が、私に妹にも電話するように言いました。
私が、意味がわからずに
「えっ？」というような顔をすると、

「はやく連絡しないと間に合わない」と言いました。

私は、そんな状態でもまだ、
父がもうすぐ亡くなるのだということに、
気づきもしなかったのです。

急いで、妹と夫に電話しました。

「お父さん ヒサが来たよ」と
母が妹を父の方に押し出しました。
父は妹を見て微かにうなづきました。

お医者さまは、酸素吸入もしましよと言って
電話で酸素ポンペを手配してくださいましたが、
それは、間に合いませんでした。

いつ息が止まったのか
気づかないくらい静かな最期でした。

今日、お葬式でした

2008-12-14 20:40:38

10日に父が亡くなりました。
今日、お葬式が終わったところです。

今はまだ、亡くなった前後のことを
うまく書くことができません。

そのうち少し落ち着いたら、
カレンダーの空白を埋めて行こうかと思っています。

実を言うと

2008-12-19 00:42:02

父のお葬式後の片付けなど
色々しなくてはならないことがあって
バタバタ過ごしていました。

手続きなどが、たくさんあって
まだまだ終わりそうもありません。

私にはいまだ、
父がいなくなったという実感がありません。

冷蔵庫にはまだ、
父が苦手だったすっぱいお薬(イソバイド)が入ったままですし、
固形物が食べられなくなった父のために
買い置きしていたプリンやヨーグルトも
そのまま残っています。
最後には、プリンさえも喉を通らなくなっていました.....

母は、いつも一緒にいたので
一人になってしまったという
寂しさがあるのかもしれない。

私はガンマナイフ後の最初のMRI検査の後で
10月1日に、
すでに、主治医から言われてしまいました。

「もう末期状態です。
いつ急変しても不思議ではありません」

と.....

その当時は、父はまだしっかりしていましたので、
末期と言われても、

実感はまったくありませんでした。

まだ、生きられるはずと、
私自身が信じたかったのかもしれない。

夫と妹夫婦には伝えてありましたが、
その時は、母にも、
他の誰にも言うつもりはありませんでした。

母や、周囲の人に伝えたのは、
11月29日の放射線治療の病院へ行った後、
再治療をあきらめる決心をした後です。

もちろん父にはとても言えませんし、
伝えるつもりはありませんでした。

家の中でコソコソ話していると
父に聞こえてしまうので、
伯父や伯母へは直接出向いて
こっそり話に行きました。

つらかったです。

父の決意

亡くなる前日、
それまで、病院へ治療に行きたいと言っていた父が
母に向かって「わかった！」と、決意を宣言したと言います。

母が、「何がわかったのか」聞くと、
ただ、笑っただけだと言うことでした。

そしてまた、手を広げて、母を抱きしめようとしたとも言います
母が驚いて「どうしたの？」と言うと
微笑んで、母の手を痛いほど握ったそうです。

それが、自分は死んでいくのだと覚悟した瞬間なのだろう
お別れだったのかもしれないと思います。

主治医から、脳腫瘍の人の最期の姿は聞かされていました。

最後は、意識不明になって、眠ったようになるはずだから、
ある意味、癌の亡くなり方としては穏やかな死に方だとも言われました。

でも、最後まで父は意識があって
自分に起こっていること、まわりで起こっていること
すべて把握できていました。

色々と面倒です

2008-12-21 21:33:09

世帯主が亡くなると、
その後の手続きが色々と面倒なんですねー

今は、年金関係の
手続きをしてるのですが.....

父は元教職員だったので、
共済年金というのでしょうか、
知識がなくて良くわかりませんが、

市役所で手続きするわけではなくて、
必要書類を送ってもらって、
記入しているのですが。

年金手帳が見あたらなかったり、
年金証書とやらが、
どこにあるのか
わからなかったりでバタバタ

父の部屋中探し回って
なんとか、年金証書の綴りを発見。

でも、何枚もファイルしてあって
どれがそうなのかよく解らない(笑

父本人に聞かないと解らないことだらけで.....
困惑するばかりです。

手続き色々

2008-12-22 16:56:12

午前中、市役所へ

先日、もらってきていた

相続人の名前を書いた書類を提出。

それと、年金の手続きに必要な書類申請など

よくわからないままに、手探りですが、

少しずつ進めています。

さらに、父の取り引き銀行2つへ

相続手続きについて聞きに行ってみました。

急ぐ必要もないので、

正式に手続きをするのは来年だと思いましたが、

とりあえず、書類だけ頂いてきました。

これまた、証明各種を揃えたり

相続人の実印・印鑑証明が必要だったり

色々面倒そうです.....

夫は「オレわからない」と

投げだしモード

今、夫は、葬儀関係の事後処理で

手一杯なのでしかたがありませんけれど.....

なんとなく、相続関係は

私一人で手続きしなくては

ならないような雰囲気なので

ちょっと心細いです(笑

夕方に、訪問入浴サービスに来てくれた方達

介護士さん2人、看護婦さん1人が

お焼香にきてくれました。

料金のお支払いもあったためではあるのですが、
お風呂のお世話は、たった1回だけでしたのに、
大きな花かごを供えてくださって、
お心遣いがとても有り難かったです。

たくさんの方々に支えられて、
父の介護の日々を過ごすことができたこと。

どんなに心強かったか、
言葉では言い尽くせません。

落ち着いてきました

2008-12-24 17:47:32

まだ、色々やらなければならないことは
たくさん残ってはいますが
なんとか落ち着いてきました。

ケアマネージャーさんが
お焼香に来てくださいました。
ほんとに、ケアマネさんのおかげで
なんとか、無事に父を看取ることができました。

最期は、次々にケアプランを
立て直していただいても、
間に合わないほどに、
急激な変化でしたけれど……

色々なサービスを手配してくださって、
残念ながら少しずつでしたけれど、
色んなサービスを利用させていただけて
よかったなと思っています。

ご家族やご自分が
介護保険申請を考えていらっしゃる方は

自分から申請しないと
何も始まりませんので、

まずは、できるだけ早めに
市役所の保険課などに
ご相談に行ってみてください。

相談相手がいるのと、いないのでは
介護の大変さが格段に違います。

あとは、小さなことでも何でも

恥ずかしいなど考えずに
ケアマネさんに相談することも
とても大切だと思いました。

一年ありがとうございました。

2008-12-29 17:21:28

2008年がもうすぐ暮れようとしています。
今年のお正月には、何事もなく
家族4人で当たり前の日々を送っていたのに、

ほんとうに、
色々なことがあった一年でした。

このブログも、はじめた時は
私自身の日常をのんびり書くつもりだったのですが、
いつの間にか、父の闘病日記になっていました。

でも、家族や身内には知られることなく、
このブログにこっそり感情を吐きだして、
気持ちを整理する場所があったことは、
私の支えだったと思います。

どなたかが読んでくださったのか
そうでないのかは、わかりませんが、

見知らぬどなたかが、
私の心の内を知ってくださった。
そう考えることが、
とても励みになっていました。

ありがとうございました。

ゆっくりと

2009-01-08 17:00:45

静かなお正月を過ごしました。
夫の実家から、
お料理とお餅の差し入れがあったので、
一通りのお節は堪能しました。

通常的生活に戻ってもまだ、
力が抜けてしまった感じで
しなくてはならないことが色々あるのに、
あまりやる気が起きません。

父の介護がなくなってしまったことに
少し、脱力感を感じています。

でも、不思議と父のいない寂しさは感じません。
もっと寂しいかと思っていたので、
我ながら意外なんですけど.....

知人にそう言ったら、
自宅で最期まで看取れたからじゃないかと言われました。

確かに、そうなのかもしれません。

亡くなったというよりは、
長期旅行や研修にでも行っているような、
そんな感覚です。

スーパーへ買い物に行くと、
甘いものが好きだった父の好物が目に入って

あー これが好きだったな
いつもこれを買って帰ると喜んだな、

など、

食べ物の思い出が
たくさん浮かんできます。

母と夫と食卓を囲みながら
父の好物の話をしたり、
毎日淹れてくれていた
コーヒーの話をしたりしていると
温かい気持ちになってきます。

ゆっくりと、少しずつ
日常に戻って行こうと思います。

庭のタワーを倒しました

2009-01-12 23:39:13

父は、若い頃からアマチュア無線が趣味で、
家には自分で作った10mのアンテナタワーが建っていました。
私がまだ子供の頃なので、もう40年近くになります。
(もしかすると、途中1回建て替えたかもしれません)

父が自分で設計し、鉄骨を組んで、自分で組み立て
釣り竿を使った自慢のアンテナでした。



最新のアンテナタワーは20mとか30mとか
もっと高いものが主流らしいのですが、
低いアンテナで、いかに電波を飛ばすかを研究したり、
元気な頃は、錆ないようにペンキを塗ったり
ずっと楽しんでいました。

手入れする主がいなくなるとは、
後は錆びて弱って行くだけなので、
今日、業者さんと、父の無線仲間が来てくれて
そのアンテナタワーを倒しました。

予定では、四十九日が終わってからだったのですが、
業者さんの都合で、はやくできるというので、
できる時にお願いした方が良く
今日になったのです。

もう鉄骨を止めているボルトなどは錆び付いていたので
クレーンで釣って土台近くを切りました。

幸いに、細切れにしなくても庭に横に置けたようで、
地面に下ろしてから細切れに切って、
処分しやすいようにしていただきました。



その間、無線仲間の人達は庭中に張り巡らせた
ワイヤーをはずしてくださったり
無線機室の片付け方法を考えてもらったり。

とにかく、素人ではどうしたらいいのか
わからないものなので、
使えるものは使ってくださいとお願いして
お任せすることにしました。

いつも道を通る人が目印にしていた
我が家のシンボルがなくなってしまって
なんだか不思議なのですが、
お葬式の時よりさびしい気がしました。



父の無線室の片付けは
まだしばらくかかりそうですけれど、
こうして、少しずつ変わって行くんですね。

三十五日

2009-01-13 00:06:57

父の無線仲間3人が来てくださって、
昨日倒したタワーを処分しに行ってくれました。
なんでも、昨日は買い取り業者が休みだったとのことで、
わざわざ、今日も来てくれました。

軽トラック2台分の鉄と、ワイヤーなど
処分料金がかかるのかと思ったら、
2000円ちょっとで売れました。

中国のオリンピック前頃なら
もっと高く売れたそうです(笑

終わったあと、
お茶を飲みながら思い出話など。
気の良い無線仲間がいて、
父は幸せだったなと思います。

それと、今日は三十五日でした。
お花を持って、お墓参りに

病院へ

2009-01-14 18:06:10

共済関係の手続きで、
父の入院の証明書が必要らしく

久しぶりに
父のかかりつけの病院へ行ってきました。

そろそろ寂しさを感じる時期なのでしょうか、
1ヶ月前には、大騒ぎしながら
通院していたのだなと思うと、
少し感傷的な気分になります。

この病院へは、もう10年来
父が手術するたび通ってきましたから
きっと、もう100回以上は確実に来てますね(笑

証明書の手続きはしましたけれど、
発行までに1週間ほどかかるらしく、
連絡しますので、また来てくださいと言われました。

病院の帰りには、いつも
病院横のコンビニでコーヒーを買って
車中で飲みながら帰っていました。

今日も、帰りにいつものコンビニへ
父が好きだった
スターバックスのエクスプレッソを買って戻り、
祭壇にお供えしました。

それと、昨夜は、母が父の夢を見たそうです。
朝起きると、第一声が「父さんが来た」でした。

寝ている時、天井から見下ろしているように
父の顔がはっきり見えたそうです。

昨日は三十五日でしたから、
きっと、父が母に会いに来たのでしょうか。

それと、もう一つの説が……

実は、夕方気がついたのですが
水道管が凍って破裂したらしく
裏に流れ出して大変なことになっていました

おそらく、昨夜の寒さで
水道管が破裂したのでしょうか。

いつもの年なら、この季節には父が
水道管にタオルを巻いたりして、
防寒対策をしてくれていたのです。

今年は、そんなことまったく頭にもなくて……

だから、父が心配して
水道管が破裂していると
教えにきてくれたのかも？ とのことです(笑

でも、不思議なことは起こるものです。

あまり強く思い過ぎるための、
気のせいかもしれませんが、

私自身もお葬式の後、しばらくの間は
頭の右側の後あたりに
ずっと父の気配を感じ続けていました。

ここ1週間ほど前からは、
感じなくなっていますが……

母方の祖父の時は、
肩甲骨の下あたりでしたね(笑

それが、気のせいでも構わないのです。
なにかそこから温かいものが感じられるから
それが、父の気配だと信じたいのです。

父の車

2009-01-21 23:01:24

今日、父の乗っていた車が
叔父のところへ行きました。

叔父が乗りたいと言ってくれたので、
遺産相続になるのでしょうか、
相続人全員のの署名と実印を押した書類を渡しました。

手続きは、叔父が自分ですということなので、
お任せすることにしました。

叔父の家へ行く父の愛車を見送りながら
なんだか、とても寂しく感じました。

当然ですが、車をあげてしまうのが、
惜しいという寂しさではありません。

叔父が使ってくれば、
どんなにか父も喜ぶでしょう。

前にも書きましたけれど、
父がいない寂しさは
今のところまだ感じないのです。

それなのに、
アンテナタワーといい、今回の車といい、
父の愛用品が無くなるのがとても寂しいのです。
不思議なものですね。

父が運転した最後に
横に乗っていたのは私でした。

最初の脳腫瘍の手術の後
とても回復してきた一時期がありました。

視界も広がってきた、目が見えると、
とても喜んでいました。

危ないからと止めるのも聞かずに
1～2度、母を買い物に
連れて行ったりもしていました。

最後の運転は、知り合いが亡くなって
お葬式のため斎場へ行った時のことです。

危ないから、私が運転して乗せていくというのを
どうしても聞かなくて(笑
念のためと言って、無理矢理
私が横に乗って行ったのでした。

まさか、あの時が最後の運転になるとは
思いも寄りませんでしたけれど……

かなりスピードを落として
慎重に運転してはいましたが、

大きな車とすれ違ったり、
自転車を追い越したりする時などは
横で、少しハラハラしてました。

でも、その後またすぐに
どんどん悪化して行ったのです。

その時の父の不運や恐怖を考えたら
とても辛かったのではないかと思います。

父は、あまり愚痴は言わなかったので
当時は、そんなことに
思い当たることもありませんでした。

今更考えても、仕方がないことなのですが、
ついつい、当時のことを思い出してしまいます。

四十九日法要

2009-01-25 11:22:52

父の四十九日法要でした。

お坊さんに来ていただいて
自宅の祭壇で供養
続いてお墓参りに行って
その後で、近くの宴会場でお昼ご飯。

無事に終わりました。

これで、一連の行事が終わったことになって、
ほっとひと息です。

まだ、初彼岸、大師講、初盆、一周忌と続きますし、
相続関係のあれこれがまだ残っていますが.....

相続手続き

2009-01-29 16:03:38

司法書士さんの事務所へ
家と土地の相続手続きを
お願いに行ってきました。

最初は、何をすればいいのか
わからないことばかりで、
途方に暮れていましたけれど、

手をつけはじめると、
色々と情報が集まってくるものですね。

家の相続は、家庭裁判所が管轄と聞いて
どんな手続きをすればいいのか
不安に思っていましたら、

知人(薬局でお世話になった人です)が、
司法書士さんにお問い合わせすれば
手続き一切をしてくださると、
知り合いの方を紹介してくれました。

すでに、相続人など、ある程度の状況を
電話でお話してあったので、

事務所にうかがったら
すぐに必要な書類の一覧をくださって、
それを市役所へ持って行って
必要な書類はすぐに揃いました。

父は産まれてからずっと移動することがなかったので、
本籍と住所が同じでしたので簡単にできましたが、
違う人の場合は、書類を取り寄せたりするのに時間がかかるそうです。

また、書類作成の手数料も、意外とかかりました。

よく覚えていませんが全部で1万円弱だったと思います。
戦前の戸籍を複製するための手数料が少し高かったです。

あとは、相続人全員の実印や
印鑑証明などが必要になるのですが、

他に、銀行関係の相続手続きでも使うので
それらの書類もすべてそろえてから
一気に記入した方がいいですよと、
アドバイスをもらいました。

妹には、どうせ無いのはわかってるから
財産分与なんて期待してないよと
言われましたけれど(笑

まったくその言葉通りに、
父は普通の公務員ですから
貯金などもさほどあるわけでもないのです。

でも、父が長年苦勞しながら働いて、
残してくれた大切な財産ですから、
感謝しつつ相続して、有効に使いたいと思います。

お位牌の引っ越し

2009-01-31 23:43:50

四十九日も終わったので、
仮祭壇を片付けました。

飾り物のぼんぼりなどは、
新盆に使うように箱にもどして片付けました。

父のお位牌は、祖父母のお位牌と一緒に
仏壇に納まりました。

お位牌は、母からの希望で
2人分の名前が刻めるものにしました。
半分に父の戒名が記されています。

我が家の仏壇が狭いせいもあるのですが。
いつの日か、母は
一緒のお位牌に並びたいのだそうです。

おくりびと

2009-02-24 17:40:05

「おくりびと」という納棺師を描いた映画が
アカデミー賞を受賞したそうで話題になっていますね。

これまで、祖父母を送り出した時には
ご近所の方達に手伝っていただいて
自宅ですべてをしたので、
葬儀前後の混乱や、おてつだいの方達への気配りで
へとへとになってしまっていたのですが、

やはり、プロをお願いすると違いますね。

父のお葬式の時は、
亡くなった後のお清めは看護婦さんが、
その他の遺体管理は葬儀屋さんのスタッフが
すべて取り仕切ってください、
お通夜・告別式すべて葬儀場でしたため、

当家は何も考えることがなく
色々なことが粛々と進んで行きました。

納棺の儀もはじめて体験しました。

お葬式前後のいろいろな儀式は
亡くなった当人のためでもありますが、
それ以上に残された遺族のためなのでしょう。

亡くなった父が、北向きに寝かされ
次には家族も加わって棺に納められ、
お通夜の席で祭壇の前に移され
荼毘に伏され、そして、お墓に納骨され

少しずつあきらめて行く、というか
故人に執着する気持ちが緩んでくるというか

確かに、そんな経験をしました。

そういえば、父の死に装束は、
スーツにネクタイ姿でした。

一番父らしい姿で旅立って良かったなと思います。

そういう気持ちを残してくれたのも、
プロならではのアドバイスからでした。

おくりびと という映画は
昨日はじめて知ったのですが、

ぜひ観てみたいと思います。

土地と建物の相続

2009-02-25 18:38:44

お願いしていた司法書士さんから
土地と建物の相続手付きが
完了したという連絡がありました。

すべての書類が揃ってから
2週間後のことでした。

お支払いした手数料は合計9万円強でした。

母の遺族年金関係の手続きが終わり、
やっと、2つめ完了です。

またまだ、終わりません

気になっていた相続税ですが、
課税されるのは、財産が 1千万円 × 相続人の人数 からだそうです。
我が家の場合は、相続人4人なので、4千万円以上

ということで、
我が家は課税対象外でしたので、安心しました(笑

あ、それから
父の使っていた携帯電話の解約をしました。
亡くなった人の解約をするには、死亡証明書(コピー可)が必要でした。

2009-03-08 22:13:30

父の無線仲間(以前お話しした薬屋さん)が無線機の片付けに来てくれました。

そのまま置いていても、誰も使う人がいないので、ローカル局で使っていただける方に分けて使っていただくということにしました。

知識の無い私にはわかりませんが、アマチュア無線をされている方にとっては、欲しくてもなかなか手に入らない機械らしいです。

(でも、アマチュア無線を続けている仲間はかなり減ってしまっているということです。)

父の無線機は、接続が複雑で、どこから、どうつながっているのかわからないものもあって、はずすのに、かなり苦労されていました。

幸い外箱と説明書はほとんど保存されていたようで、

なんとか、無事に箱に収まりまず、第一陣が運ばれて行きました。

我が家の庭は、あらゆるところ、縁の下にも、屋根裏にも、縦横無尽に電線(アンテナ線なのか?)が張り巡らされているのです。

1月に倒してもらったアンテナタワーは遠くまで電波を飛ばすには低いので

それを補うために、線を引き延ばすことが
必要だったらしいのですが、

どう繋がれているのかは、
父本人にしかわからないそうです。

そういう作業もまた、
無線の楽しみだったのだと思います。

とりあえず、そういう線は、
一番もとになっている部分を切断して、
あとはそのままにすることにしました。

またひとつ

2009-03-12 14:32:28

父の銀行関係の相続手続きをしてきました。
以前、申請書はもらってあったので、
必要証明書等を添えて持って行きました。

とりあえず、1つめの銀行、手続き申請完了。
手続きが終わったらまた連絡があるらしいです。

それで、対応してくれた係の人が
中学校の時の同級生で.....

お願いされてしまって、お断りしきれずに
クレジットカードを作ってしまった。

お墓そうじ

2009-03-18 07:43:43

母を連れてお墓そうじに行ってきました。
我が家のお墓は、少し高台にあるので
急な坂を登るのが大変。

良い運動にはなりますが、
最後の数歩が特に心臓破りで……

彼岸の入りということで、
お掃除をしている方がたくさんいました。

父が亡くなって、もうすぐ百箇日になります。
もう、3ヶ月になってしまうんですね。

父のいない生活に慣れてきたような
まだ馴れないような……

時々、ふと
ものすごく寂しくなる時があって、
「あの時、こうしてあげれば良かった」など
色々考えてしまう時もあります。

初彼岸

2009-03-19 16:13:43

父の初彼岸。

厚い親戚だけだろうと思っていたら
ご近所の方や、父の仕事関係の方々も
意外にたくさんの方がお参りに来てくださって。
ありがたいことです。

お彼岸は、お返しものの習慣はないので、

持ち帰っていただくのに用意していた
お茶菓子の箱が足りなくなって
あわてて買いに走ったりもしました。
なんとなくバタバタしています。

それと、やっと1つ、
銀行の相続手続きが終わりました。
残りは、あと2つです。

そうそう、妹の長男の小学校卒業式だったそうです。
式のあと学生服を着て報告に来てくれました。

卒業証書を「じいちゃん」に見せるのだと行って
妹と、母と3人で墓参りに行きました。

きっと、父も喜んだと思います。

百箇日

2009-03-19 21:00:59

父の百箇日でした。
特に何もしませんでした
母とお墓参りだけ。

春

2009-03-25 08:44:48

春らしくなってきましたね。
今日は、母が老人会の
日帰り旅行に行きました。

お花見らしいのですが、
まだちょっと早いかな？

母もずいぶん長いこと
家にばかりいましたから
少しは外に出た方が
気分転換になって良いかもしれません。

まだ喪中なのにと気にしていましたけれど
いつまでも、家でこもっていても
かえって良くないですからね。

大師講

2009-04-10 00:23:27

地元の行事、大師講の日でした。

大師講というのは、
いわば、四国八十八か所巡礼のミニ版のような感じです。

大師様というのは、弘法大師のことでしょうか
実は何なのか良く知りません。

講に所属している人達は、10日前後に渡って、
地元周辺に祭られている大師様を拜んで、
新仏の供養をしてみわります。

それで、今日は、その人達が
私の住んでいるところへ来る日でした。

新仏のある家が参加するのですが、
今年は多くて8軒ありました。

どのようなことをするかと言うと、

新仏のある家では、お握りやお菓子などを供えて
供養してくれる講の人達をもてなすのです。

お位牌をもって行きます。

お供えとして、

回向料(えこうりょう) 1万円、酒1升、蠟燭1本、線香1束
混ぜご飯のお握り(または菓子パン) お菓子など色々

新仏のある家だけでなく、ご近所の人達も来てくれます。

それで、講の人達は、今回は
お坊さん3人と、お年寄り30名前後でした。

みんなでお経を上げた後で、
お供えものを講の人達に配ります。

これまで、祖父母が亡くなった時に
体験したところによると、
この場面が、凄まじかったのです。

講のお年寄りたちが、
みんなで取り合い、奪い合いという感じで……

本音を言ってしまうと、これが仏弟子達の姿なのかと
目をそらしたくなるほど……

お供えされて、お経をあげて拝んだ食べ物は
御利益があると考えようです。

本人が自分で食べるだけでなく、たくさん貰って帰り、
家族や知り合いに配るのも楽しみらしいです。

また三度めも人生の先輩達の
そんな卑しい姿を見なくてはならないのかと
実は、とても気が重かったのですが

今回は、色々と改善されたようで、
みなさん、おとなしく座って、
お供えものが配られるのを待っておられました。

そうでなくては、ね。

せっかくおもてなししようとお供えしたものを
奪うようにして持っていかれるのは
お供えした方としては、
気分の良いものではありませんから。

でも、一度もらった菓子パンを鞆に隠して
2度、3度と手を出して
ねだっているおじいさんもいましたが

まあ、そのくらいなら可愛いモノです(笑)

終わった後で、リーダーの人を中心に
反省会もしてました(笑)

もしかすると、あまりのひどさに
クレームでもあったのかもしれませんが。

今回は、お茶を出すのは中止になっていました。
これは、新仏がある家は毎年多いとは限らないので、
もしも1軒だけだった場合の負担を考えて縮小傾向になったのと、

これまでの、酷い様子を見かねての
心情というのもあったと思います。

あの状態ではなあ……

ともあれ、今回は以前のように
嫌な気分になることもなく、
無事に行事を終えることができてよかったです。

でも、今年で大師講は解散されるようなので、
来年からはこの行事はなくなります。

伝統文化が1つ消えるのは
勿体ないのかもしれませんが。

終わった♪

2009-04-14 21:48:10

今日、少し遠くの銀行へ手続きに行ってきた、
これで、相続関係の手続きが一通り終わりました。

長かったです。

まだ、細かい手続きが
出てくるかもしれませんが

とりあえず、肩の荷がおりました。

もっと事務的にどんどん手続きをしてしまえば、
こんなには長くかからないはずなのですが、

なんというか、気分的にね。
手続きしに行こうという気持ちに
なかなかならないもので……

少しずつ、少しずつという状況でした。

最初に、司法書士さんをお願いして
土地と建物の相続をした時に
戸籍謄本とか、印鑑証明とか
色々な証明書類はみんな揃うので、

手続きをしている間に
各銀行へ行って相続用の書類を
みんな集めてきました。

それで、相続人全員に来てもらい、
実印が必要な書類を全部を並べて
一気に署名と実印をもらいました。

土地と建物の相続手続きが終わると
必要書類は全部返却してくれるので、

それをそのまま、順番に
銀行の相続手続きに使って行きました。

まあ、途中で何度か
書類の書き方を間違えたりして
書き直しとか、実印の押し直しとかありましたが

やってみれば、分からないなりに
なんとかなるものです。

ピカキラの日

2009-04-19 09:26:22

1年前の4月19日

父が目の異変にはっきり気がついた日です。

父は長年小さな手帳に細かく日記を記録していました。

細かい字で父だけがわかるように書いてあるため

読み取れない部分も多くて、

まだ全部読むことはできないのですが、

数十冊もある手帳のうち、昨年分だけは

少しずつ目を通しはじめました。

どうやら、目の異常が起こったのは4月9日で、

その後、なかなか治らないので

19日に変だぞと考えたようです。

早朝、1時30分頃トイレに起きて、水を飲み

6時頃目覚め。7時35分に起きたら、まだ誰も起きていなくて

雨戸を開け、蒸しパンの朝食を取ったと書いてありました(笑

運動のため庭を散歩「いくらでも歩ける感じ」

天気が良く、寒い感じの日だったようです。

母を連れてドラッグストアへ買い物に

ついでに書籍を取ってきたとメモ

書店へ寄って来たのでしょうか。

ここまでは、ボールペンで書いてあるのですが、

後で付け足したように、シャープペンで

17:00～ (一部読めず) ピタキラ～ 元に戻るのに時間がかかり

今は書けるようになった と書いてありました。

ピタキラ、ピカキラという表現がはじめて出てきた日です。

後で、4月9日のできごとを説明したところによると、
運動のため庭を歩いていたら、
突然目の前が明るくピカピカ点滅する状態になったそうで、
驚いてそのまま、しばらくじっとしていたら治ったと書いてありました。

それからは、右上の方に白いものが浮かんで見えるようになり、
消えないので気になっていたようです。

そのことを、日記では、
ピタキラ とか、ピカキラと表現しています。

その他に、日記の余白に、19日として
右上部の丸いピカピカ.....
すぐ治ると思ったら4/9日以降も何回かあったこと、
Logの入力がうまくいかない走り書きしてありました。

Logの入力というのは、
私がアマチュア無線のHPを作ってあげていたのですが、
交信ログの入力は必要なHTMLを覚えて
ずっと父が自分でやっていたのです。

今までできていたのが、できなくなってしまって
衝撃を受けたようです。

読むと、当時の父の気持ちが察せられて
胸が締め付けられる感じになります。

なら、読まなければいいと思うのですが、
読まなければ、読まないで
気になってしかたがないのです(笑

不思議なもので、いくつになっても
「親は恋しい」もののようです。

祖父母と別れた時には
こんな気持ちにはなりませんでしたから。

不思議なものですね。

新盆の準備

2009-06-15 09:09:26

はやいもので、父の死から半年を過ぎ
もう新盆準備のDMがたくさん届きます。

お葬式以来、頻繁に
仏具屋さんからのDMが届くようになりました。

新聞に告別式の案内を掲載したので、
住所と喪主の名前が公開されてしまったので、
それでなんでしょうけれどね.....

でも、新盆は、
お葬式をお願いした葬儀屋さんに依頼しました。

お葬式の時の仮祭壇と飾り物を少しとってあるので、
最初は盆提灯をいくつか購入して
それでしょうと考えていたのですが、

一式レンタルしちゃった方が
盆提灯を買うよりも安上がりだったので、

あまり大きさにならない程度の新盆飾りを
レンタルすることにしました。

飾りつけ、後片付けも業者さんまかせなので
私としても楽ですしね。

それと、問題なのが、新盆のお返しもの
どれくらいの方が来てくださるのか
全然予想がつかないのです。

普通は、お葬式の3分の1前後と
考えるらしいのですが.....

父の交際範囲の場合は、
色々と不確定要素が多すぎて

そんなこんなで、色々と頭を悩ませています。

新盆のお返しもの

2009-07-15 09:51:48

叔父の店に頼んでおいた
新盆用のお返しものが届きました。

物置に使っている部屋がいっぱいです。

東京などでは、お盆は7月らしいですが、
私の住んでいるところでは、8月です。

新盆参りのたくさんある方などは、
もう8月に入るとすぐに来たりするので、

早めに準備しておかなくてはなりません。

確か、亡くなった祖母が言うには
8月2日だったか、「地獄の釜の蓋が開く」ので
この日にお盆の用意をはじめるとか

検索してみると、8月1日と書いてもありますね。

7月1日を、釜蓋朔日（かまぶたついたち）と呼ぶことがあるそうで、
そこから来ているのかもしれませんが。

新盆のお飾りは、
8月1日にお願いしてあるので、
近くなったら、部屋を片付けておかないといけません。

新盆の祭壇

2009-08-01 13:33:10

お願いしていた通り、
葬儀屋さんが新盆の祭壇を飾ってくれました。
やはり自分でするより、豪華にできました。

はやいもので、もう8ヶ月

昨年の今頃の父は、手術して退院したものの
また少しずつ悪くなってきて、
再手術と言われガッカリしていた時期です。

新盆のお客さま

2009-08-10 01:11:33

週末から、ぼちぼちと
新盆お見舞いのお客様が来始めました。

話し相手は主に母が担当してくれているので助かります。

新盆が終わりました

2009-08-17 07:36:32

ようやく、父の新盆が終わりました。

13日はご近所の方々、14日は親戚と父の仕事関係の方々
およそ200人近くの方がお参りに来てくださいました。

いつお客様が来るかわからないので、
一日中ずっと待機状態で、実のところかなり疲れました。

昨日、16日は、お寺さんで「施餓鬼」という行事があって
夫が参加してきました。

新盆の家が参加するのですが、
お位牌とお布施を持ってお寺さんへ行きます。

詳しくは知識がないのですが、
なんでも、お盆に供養する人のいない仏さん達を
供養するのだと聞きました。

夫が施餓鬼に行っている間、
私と母は、お盆の片付けをしていましたが、

祭壇の片付けはすべて葬儀屋さんがしてくれたので、
かなり楽でした。

またひとつ、大きな行事が終わって
ほっとしています。

次は、一周忌です。

1 周忌のおかえしもの

2009-11-01 08:14:30

父の1周忌法要の日程が決まりました。

命日は12月なのですが、

師走はなにかと忙しいということで11月に予定しました。

お返しものを選ぶので、叔父が経営するギフトショップへ
1周忌にお呼びするのは、親戚だけなので20人くらいです。

外に出たついでに、久しぶりに家族3人で昼ご飯を食べてきました。

父の命日

2009-12-10 23:30:42

父の命日でした。
あれから1年が経ってしまいました。

母を連れてお墓参りに。
庭に咲いていた菊を持っていったのですが、

先日の一週忌の時の花がまだ枯れずに綺麗に咲いていました。

一年経っても、まだ父の部屋が片付いていません。
なんだか、手に付かないのです。

そのうち、少しずつ整理していかなくては.....

おわりに

さいごまでお読みいただき、ありがとうございました。

あとがきを書いている現在、2010年8月1日。
今年は2回目のお盆「流れ盆」に当たります。

昨日、夫が祭壇を飾りました。
流れ盆はもう新盆のように賑やかな飾りはしませんけれど、
お葬式の時の走馬燈や金蓮などをとっておいたので
それを飾りました。

肉親の死というものは、
残された人を成長させてくれるものだと思います。

色々なことを経験して、色々なことを考えました。

病院と患者の関わりについて、
私をもっと病気の知識を持っていたらなど

まだまだ思うところはあるのですが、
ひとまず、これで「父の闘病記」はおしまいです。

現在、看病や介護を続けていらっしゃる方に
なにか少しでもヒントになるものがあつたらと思っております。

経験してみても初めて知ったことですが、
看病、介護というのは、聞いていた以上に心身ともに疲れるものでした。

なんとか1ヶ月は頑張れるのです。

でも、その頑張りは、そのペースのままで
2ヶ月、3ヶ月と続けるのは無理があります。

私の場合は、何ヶ月かではありましたが、
時には心が砕けそうな時もありました。

それでも、無理でも、目の前に病気の家族がいるわけで、
なんとしても続けて行かなくてはならないのです。

世の中には、それを
5年、10年、それ以上、されている方々もいらっしゃいます。

ご本人もご家族も、私の体験など及ばないほど
ご苦勞の多い日々を過ごされているのではないかと想像します。

どうぞ、ひとりで抱え込まない状態を作ってくださいと
そう申しあげたいです。

介護保険などの公共のサポートは
こちらから届け出を出さない限りは何もはじまりません。

肩の荷物を少しでも専門家に預けて、
まずは、あなた自身の心身のバランスを整えてください。

その上で、あなたの大切な方を支えて差し上げてください。

そう、心から願っています。

お読みになった感想やご意見などをお聞かせいただければ幸いです。
これをご縁に、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

それでは、またお会いしましょう♪

筆名 仲津 麻子／ 緋芽

Copyright(C)2010 Asako Nakatsu. All rights reserved